

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/06/10		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240566011002	科目番号 / Course code	05660110
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 12611_002		
授業科目名 / Course title	● 日本国憲法(人文・社会科学科目) / The Constitution of Japan		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	池谷 和子 / Kazuko Ikeya		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	池谷 和子 / Kazuko Ikeya		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	池谷 和子 / Kazuko Ikeya		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目, 自由選択科目, 人文・社会科学科目, 選択科目, 人文・社会科学科目, 自由選択科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟21 / RoomA-21		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学部 of 学生(教育学部の1年生を除く)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kazukeya▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部本館 6 0 9 研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日の3校時(事前にメールにてアポイントを取ること)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	憲法の基本事項を理解し、実生活と関連づけて捉えられることが出来るような授業を行う。		
授業到達目標/Course goals	今後の人生や就職に役立つような憲法の知識を身に付けることができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☒ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	毎回のレポートの合計により成績評価(100%) 100点満点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	(予習)教科書の該当部分を事前に熟読した上で、それに関連した事柄について情報収集(テレビや新聞を見る、家族や友人と話をする等)をしておくこと。(4時間)		
キーワード/Keywords	憲法		
教科書・教材・参考書/Materials	・教科書： 芦部信喜『憲法第八版』岩波書店 ・ポケット六法(有斐閣)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	4/5以上の出席が必須。加えて、この講義は2限連続の講義の為、初日(第1回と第2回)の講義を欠席した学生は、単位を取れませんので注意して下さい。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考/Remarks			
学生へのメッセージ/Message for students	予習をしっかりとして下さい。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第 1 回	オリエンテーション
第 2 回	憲法の基礎
第 3 回	国民主権と天皇制
第 4 回	平和主義
第 5 回	基本的人権の基礎
第 6 回	包括的基本権と法の下での平等
第 7 回	精神的自由権 (1)
第 8 回	精神的自由権 (2)
第 9 回	経済的自由権 (1)
第 1 0 回	経済的自由権 (2)
第 1 1 回	人身の自由・国務請求権・参政権
第 1 2 回	社会権
第 1 3 回	国会
第 1 4 回	内閣・財政・地方自治
第 1 5 回	裁判所・憲法改正

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2024/11/27		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240566011003	科目番号 / Course code	05660110
科目ナンバリングコード / Numbering code	GE0C 12611_002		
授業科目名 / Course title	● 日本国憲法 (教育学部小学校対象) (人文・社会科学科目) / The Constitution of Japan		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	井田 洋子 / Ida Yoko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	井田 洋子 / Ida Yoko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	井田 洋子 / Ida Yoko		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目, 自由選択科目, 人文・社会科学科目, 選択科目, 人文・社会科学科目, 自由選択科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟21 / RoomA-21		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	教育学部小学校専攻の1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	smile▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部 本館506		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日授業後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	国の根本規範としての憲法の実在意義ならびに基本原理 (普遍的価値とされる基本的人権の尊重・国民主権・権力分立・違憲立法審査制と、日本独自の価値である象徴天皇制と絶対的戦争放棄) を、歴史的、比較法的視点を踏まえ、具体的事例を参考にしながら考察する。		
授業到達目標/Course goals	受講生が 憲法の基本概念を理解し、自分の言葉で説明できるようになること、主権者としての自覚をもち、日本における憲法をめぐる問題を自身の問題として捉え、考えることができること、地球市民として、日本社会だけでなく国際社会の諸問題にも目をむけることができるようになること。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☒ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☒ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	憲法理念に関する具体的問題の理解に関するレポート40点、定期試験 (憲法の基本原理の理解・国内外の時事問題・自分の言葉で語ることができる能力等を観る) 60点の総合評価。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習: 事前に配布するレジュメの書かれている内容について、特にキーワードを中心に自身で調べる (2h) 事後学習: 授業で取り上げた内容について、教科書やレジュメをもとに理解を深める (2h)		
キーワード/Keywords	立憲主義、民主主義、国民主権、基本的人権、個人の尊重、		
教科書・教材・参考書/Materials	【テキスト】播磨信義・上脇博之・木下智史・脇田吉隆・渡辺洋【編著】『新・どうなってる!? 日本国憲法 憲法と社会を考える 【第3版】』法律文化社 なお、毎回の授業においてレジュメを配布するとともに、適宜判例や参考文献についての情報を学生に発信する。 前半・後半共通『ポケット六法』有斐閣等、いずれかの六法書 後半『世界憲法集』岩波書店		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	特になし。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考/Remarks	コロナ禍の経験を踏まえ、場合によっては対面とリアルタイムオンラインとの混合型の授業を行う場合がある。
学生へのメッセージ/Message for students	新聞やテレビ等で日々のニュースに触れ、国内外の状況に通じていることが、この授業を理解する上で有益である。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	憲法とはなにか 基本概念の把握－国家、民主主義、立憲主義、法治国家等
第2回	憲法制定過程と2つの天皇制
第3回	国民主権と選挙制度
第4回	法の下での平等
第5回	信教の自由と政教分離
第6回	表現の自由 1
第7回	表現の自由 2
第8回	人身の自由
第9回	社会権
第10回	外国人の人権
第11回	国家権力の構造－立法権と行政権の関係
第12回	司法権
第13回	憲法9条と戦争放棄 1
第14回	憲法9条と戦争放棄 2
第15回	憲法改正問題
第16回	試験

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/06/10		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240566011004	科目番号 / Course code	05660110
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 12611_002		
授業科目名 / Course title	● 日本国憲法 (人文・社会科学科目) / The Constitution of Japan		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目, 自由選択科目, 人文・社会科学科目, 選択科目, 人文・社会科学科目, 自由選択科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	全学生(教育学部の1年生を除く)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nishitsu.nu▲gmail.com (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	条文と基本概念、主要な裁判例を検討しながら、日本国憲法の全体を学ぶ。 基本的人権に授業の半分強をあて、象徴天皇制や平和主義、統治機構に残りをあてる。		
授業到達目標/Course goals	憲法の基礎的な用語と定義が説明できるようになる。 憲法の基礎的な論点について、法的思考力をもって論じることができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■ 汎用的能力 / Generic Competence □ 倫理観 / Ethics ■ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■ 主体性 / Autonomy □ 協働性 / Cooperativeness □ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over □ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業内で行う小テスト40点、定期試験60点の合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習 教科書の章立て順に授業を行うので、予め教科書を読んで授業に臨むことで理解が容易になる。(2h) 復習 教科書と配布資料、ノートを再読し、理解を確実にするように努める。(2h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	教科書：安西文雄・巻美矢紀・穴戸常寿『憲法学読本（第3版）』有斐閣		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948		
備考/Remarks	対面形式で行う。		
学生へのメッセージ/Message for students	新聞やニュースを見て、授業で得た知識と関連づけるよう心がけること。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第 1 回	ガイダンス / 憲法総論 1 : 憲法史 (対面)
第 2 回	憲法総論 2 : 象徴天皇制 (対面)
第 3 回	憲法総論 3 : 平和主義 (対面)
第 4 回	基本的人権 1 : 人権総論 (対面)
第 5 回	基本的人権 2 : 包括的基本権 (対面)
第 6 回	基本的人権 3 : 法の下での平等 (対面)
第 7 回	基本的人権 4 : 思想・良心の自由 (対面)
第 8 回	基本的人権 5 : 信教の自由 (対面)
第 9 回	基本的人権 6 : 表現の自由総論 (対面)
第 1 0 回	基本的人権 7 : 表現の自由の現代的課題、集会結社の自由、学問の自由 (対面)
第 1 1 回	基本的人権 8 : 経済的自由、刑事手続上の権利 (対面)
第 1 2 回	基本的人権 9 : 社会権 (対面)
第 1 3 回	統治機構 1 : 国会、参政権 (対面)
第 1 4 回	統治機構 2 : 内閣 (対面)
第 1 5 回	統治機構 3 : 裁判所、憲法訴訟 (対面)
第 1 6 回	定期試験 (対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 2クォーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2024/06/11 ~ 2024/08/07		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240566011005	科目番号 / Course code	05660110
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 12611_002		
授業科目名 / Course title	● 日本国憲法(人文・社会科学科目) / The Constitution of Japan		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目, 自由選択科目, 人文・社会科学科目, 選択科目, 人文・社会科学科目, 自由選択科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生(教育学部の1年生を除く)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nishitsu.nu▲gmail.com (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	条文と基本概念、主要な裁判例を検討しながら、日本国憲法の全体を学ぶ。 基本的人権に授業の半分強をあて、象徴天皇制や平和主義、統治機構に残りをあてる。		
授業到達目標/Course goals	憲法の基礎的な用語と定義が説明できるようになる。 憲法の基礎的な論点について、法的思考力をもって論じることができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy □協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over □B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業内で行う小テスト40点、定期試験60点の合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習 教科書の章立て順に授業を行うので、予め教科書を読んで授業に臨むことで理解が容易になる。(2h) 復習 教科書と配布資料、ノートを再読し、理解を確実にするように努める。(2h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	教科書：安西文雄・巻美矢紀・穴戸常寿『憲法学読本(第3版)』有斐閣		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考/Remarks	対面形式で行う。		
学生へのメッセージ/Message for students	新聞やニュースを見て、授業で得た知識と関連づけるよう心がけること。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第 1 回	ガイダンス / 憲法総論 1 : 憲法史 (対面)
第 2 回	憲法総論 2 : 象徴天皇制 (対面)
第 3 回	憲法総論 3 : 平和主義 (対面)
第 4 回	基本的人権 1 : 人権総論 (対面)
第 5 回	基本的人権 2 : 包括的基本権 (対面)
第 6 回	基本的人権 3 : 法の下での平等 (対面)
第 7 回	基本的人権 4 : 思想・良心の自由 (対面)
第 8 回	基本的人権 5 : 信教の自由 (対面)
第 9 回	基本的人権 6 : 表現の自由総論 (対面)
第 1 0 回	基本的人権 7 : 表現の自由の現代的課題、集会結社の自由、学問の自由 (対面)
第 1 1 回	基本的人権 8 : 経済的自由、刑事手続上の権利 (対面)
第 1 2 回	基本的人権 9 : 社会権 (対面)
第 1 3 回	統治機構 1 : 国会、参政権 (対面)
第 1 4 回	統治機構 2 : 内閣 (対面)
第 1 5 回	統治機構 3 : 裁判所、憲法訴訟 (対面)
第 1 6 回	定期試験 (対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 4クォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2024/11/28 ~ 2025/02/07		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240566011006	科目番号 / Course code	05660110
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 12611_002		
授業科目名 / Course title	● 日本国憲法(人文・社会科学科目) / The Constitution of Japan		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目, 自由選択科目, 人文・社会科学科目, 選択科目, 人文・社会科学科目, 自由選択科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生(教育学部の1年生を除く)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nishitsu.nu▲gmail.com (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	条文と基本概念、主要な裁判例を検討しながら、日本国憲法の全体を学ぶ。 基本的人権に授業の半分強をあて、象徴天皇制や平和主義、統治機構に残りをあてる。		
授業到達目標/Course goals	憲法の基礎的な用語と定義が説明できるようになる。 憲法の基礎的な論点について、法的思考力をもって論じることができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy □協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over □B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業内で行う小テスト40点、定期試験60点の合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習 教科書の章立て順に授業を行うので、予め教科書を読んで授業に臨むことで理解が容易になる。(2h) 復習 教科書と配布資料、ノートを再読し、理解を確実にするように努める。(2h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	教科書：安西文雄・巻美矢紀・穴戸常寿『憲法学読本(第3版)』有斐閣		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考/Remarks	対面(オンライン含む)形式で行う。		
学生へのメッセージ/Message for students	新聞やニュースを見て、授業で得た知識と関連づけるよう心がけること。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第 1 回	ガイダンス / 憲法総論 1 : 憲法史 (対面)
第 2 回	憲法総論 2 : 象徴天皇制 (対面)
第 3 回	憲法総論 3 : 平和主義 (オンライン)
第 4 回	基本的人権 1 : 人権総論 (オンライン)
第 5 回	基本的人権 2 : 包括的基本権 (対面)
第 6 回	基本的人権 3 : 法の下の平等 (対面)
第 7 回	基本的人権 4 : 思想・良心の自由 (対面)
第 8 回	基本的人権 5 : 信教の自由 (対面)
第 9 回	基本的人権 6 : 表現の自由総論 (対面)
第 1 0 回	基本的人権 7 : 表現の自由の現代的課題、集会結社の自由、学問の自由 (対面)
第 1 1 回	基本的人権 8 : 経済的自由、刑事手続上の権利 (対面)
第 1 2 回	基本的人権 9 : 社会権 (対面)
第 1 3 回	統治機構 1 : 国会、参政権 (オンライン)
第 1 4 回	統治機構 2 : 内閣 (オンライン)
第 1 5 回	統治機構 3 : 裁判所、憲法訴訟 (オンライン)
第 1 6 回	定期試験 (オンライン)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2025/03/31		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240569061401	科目番号 / Course code	05690614
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 12661_002		
授業科目名 / Course title	● オランダの文化(人文・社会科学科目) / Dutch Culture		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	山下 龍 / Yamashita Noboru		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	山下 龍 / Yamashita Noboru		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	山下 龍 / Yamashita Noboru		
科目分類 / Course Category	言語・異文化理解科目, 総合科学科目, 自由選択科目, 人文・社会科学科目, 総合科学科目, 自由選択科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	noboruy▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	言語教育研究センター B-112		
担当教員TEL/Tel	095-819-2080		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	日本と北ヨーロッパの中心国の一つとして発展してきたオランダとの交流が江戸初期に長崎から始まり、その交流が現在まで400年以上続いています。この講義ではオランダの文化と歴史を中心に、北ヨーロッパの歴史的発展、または、長崎と深い関わりのある日蘭交流について、基本的な知識の修得と文化理解を目的とします。		
授業到達目標/Course goals	オランダ・北ヨーロッパの文化と歴史、または、日蘭交流についての基本的な知識を修得します。なお、講義の理解度に応じて、課題内容の順番などを変更することがあります。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ■ 倫理観 / Ethics ■ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	成績評価の方法・基準等 成績評価は、○定期試験、または、レポート80%、授業中の提出物・課題20%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	講義で配布された資料を読み、資料と講義の内容に基づいたレポート課題をしたうえで講義にのぞむこと。 講義の内容を復習する。 2時間事前、2時間事後学習		
キーワード/Keywords	オランダの歴史・オランダの文化・オランダの社会・オランダの教育		
教科書・教材・参考書/Materials	教材 : プリント教材 毎回配布します。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	全回出席が原則		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		

備考/Remarks	すべての講義は「対面」で行います。
学生へのメッセージ/Message for students	講義の内容をしっかりと聞き、渡された教材を予習・復習すれば、オランダや西欧の文化と歴史を広く、楽しく理解できるようになります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	N
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 対面	01. オランダの先史時代 02. ローマ時代(紀元前57年-紀元後500年) 03. 北ヨーロッパでのキリスト教の布教 04. カール大帝(756 -814)
第2回 対面	05. ヘッペン・オッラ・フォーゴラ 文語の発展 06. フロリス5世(1254 -1296)とホラント伯(オランダ)の発展 ・英仏100年戦争 ・黒死病(ペスト) 07. ハンザ同盟の貿易(1356年 - 1450年)
第3回 対面	08. エラスムスと人文主義(1469 -1536) 09. カール5世(1500-1558) ・ブルゴーニュ公爵領ネーデルランデン ・カール5世 ハプスブルグ領ネーデルランデン 10. 聖画像・偶像破壊 11a. オラニエ公ウィレム1世(1533-1584) ・ネーデルランデンの反乱の始まり(80年戦争)(1568-1648)
第4回 対面	11b. オラニエ公ウィレム1世(1533-1584) ・ネーデルランデンの反乱の始まり(80年戦争)(1568-1648) 12. 7ネーデルランデン共和国時代(1588 -1795) 13. 15・16世紀の美術
第5回 対面	14. オランダ 東インド会社(1602-1799) 15. 平戸と出島 ・1609年 平戸オランダ商館創立 ・1641年 出島への移動
第6回 対面	16. デ・ベームステル干拓地(1612) 17. アムステルダム運河(1613 -1662) 18. 公定オランダ語訳聖書(1637)
第7回 対面	19b. 黄金時代の芸術(1602 - 1672) 20. アトラス・マイオル大地図帳(1662) 21. 黄金時代の学者たち 22. Zeehelden van de Gouden Eeuw 黄金時代の海の英雄たち
第8回 対面	23. 災厄の年 24. 奴隷制(1637 -1863)
第9回 対面	25. Buitenhuizen in de 17e en 18e Eeuw 17・18世紀の別荘 26. バタビア共和国・バタビア連邦時代(1795 -1806) ・De Bataafse Republiek バタビア共和国の樹立(1795- 1801) ・Het Bataafs Gemenebest バタビア連邦の樹立(1801 -1806)
第10回 対面	27. Napoleon Bonaparte en de Nederlanden ナポレオン・ボナパルテとネーデルランデン ・Koninkrijk Holland ホラント王国時代(1806 - 1810) ・Onderdeel van het Franse Keizersrijk フランス第一帝国時代(1810 - 1813) 28. ネーデルランデン連合公国・ネーデルランデン連合王国時代(1813-1830/39) ・1813年 Soevereин Vorstendom der Verenigde Nederlanden ネーデルランデン連合公国の誕生 ・1815年 Verenigd Koninkrijk der Nederlanden ネーデルランデン連合王国の樹立 ・1830年 ベルギー独立宣言・独立戦争 ・1839年 ベルギー独立とネーデルランデン王国の誕生(1830/1839) 29. Het Koninkrijk der Nederlanden ネーデルランデン王国 1839 ~)
第11回 対面	30. マクス・ハフェラール(1860) 31. 児童労働 32. アレッタ・ヤコブスと女性解放 33. フィンセント・ファン・ゴッホ(1853 -1890) 34. 第一次世界大戦(1914 -1918)

第12回 対面	35. デ・ステイル 36. 1920-1930年代（第一次と第二次世界大戦の間の期間） 37a. 第二次世界大戦 オランダ
第13回 対面	37b. 第二次世界大戦 オランダ領東インド 38. オランダ領東インドの独立（1945 - 1949） 39. 1975年 オランダ領スリナムの独立 40. 旧 オランダ領アンティル諸島 41. 1953年の大洪水とデルタ計画
第14回 対面	現在のオランダの 政治・経済など
第15回 対面	現在のオランダの 養育・福祉・行事・食事など

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240569061501	科目番号 / Course code	05690615
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 12711_002		
授業科目名 / Course title	● オランダの言語 (人文・社会科学科目) / Dutch Language		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	山下 龍 / Yamashita Noboru		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	山下 龍 / Yamashita Noboru		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	山下 龍 / Yamashita Noboru		
科目分類 / Course Category	言語・異文化理解科目, 総合科学科目, 自由選択科目, 人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	オランダ・オランダ語に興味を持つ学生 The explanation in class will be given in Japanese only, therefore the syllabus will also only be given in Japanese. If you are an interest foreign student and you are not sure if your Japanese language ability is sufficient, please contact prof. Yamashita directly by e-mail. 授業中の説明は日本語のみとなりますので、シラバスも日本語のみとなります。自分の日本語能力が十分かどうか不安な方は、山下先生に直接メールでご相談ください。		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	noboruy▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	言語教育研究センター B-112		
担当教員TEL/Tel	095-819-2080		
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義の前後 連絡してから		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	初級レベルのオランダ語入門講義である。本講義のために作成した資料を活用し、聞く・話す・書く・読むことを通して聴解・読解・文法を学ぶ。会話の中に基本の文法を取り入れ、文法を自然に身に付けることを目指す。習ったオランダ語を、実際に楽しく用いる。また、オランダの人気ある歌を紹介し、オランダの文化も紹介する。		
授業到達目標/Course goals	初級レベルのオランダ語の聴解・読解・文法の知識を身に付ける		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills ☐D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	課題 30% 定期試験 70%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学修の内容/Preparation & Review	2時間事前、2時間事後学習		
キーワード/Keywords	オランダ語、オランダ文化		
教科書・教材・参考書/Materials	オランダ語入門、オランダ語入門 練習問題 (長崎大学・山下 龍)、講義で配布する。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	全回出席が原則		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	すべての講義は「対面」で行います。
学生へのメッセージ/Message for students	他の国立大学で勉強ができない言語を挑戦してみましょう！
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	N
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
対面	Les 01. Hallo, ik heet Jelle
対面	Les 02. Wat is uw naam?
対面	Les 03.Woon je hier al lang?
対面	Les 04. Aangenaam kennis te maken
対面	Les 1-4 復習
対面	Les 05. Mijn familie / Hoe laat is het?
対面	Les 06. Wat doe je vandaag?
対面	Les 07. Een week heeft zeven dagen
対面	Les 08. Afspreken
対面	Les 1-8 復習
対面	Les 09. In een restaurant
対面	Les 10. Spreek je Nederlands?
対面	Les 11. De weg vragen
対面	Les 12. Boodschappen
対面	Les 1-12 復習 模擬テスト

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240588023901	科目番号 / Course code	05880239
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 15921_002		
授業科目名 / Course title	●モノポリーで学ぶ教養としてのビジネス(人文・社会科学科目) / Business foundations through playing MONOPOLY?		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	林 徹 / Hayashi Toru		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	林 徹 / Hayashi Toru		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	林 徹 / Hayashi Toru		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	thaya▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部本館627研究室		
担当教員TEL/Tel	095-820-6368		
担当教員オフィスアワー/Office hours	開講時に説明します。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	演習型の集中講義のため感染症その他の状況により開講時期が変更になることがあります。注意してください。形態は対面のみ。 MONOPOLYのゲーム体験をふまえて、ゲームの舞台を知り(土地・税制史,銀行,企業金融,民法),楽しむことの意義を学術的に検討し(定石,交渉術と遊び,アクティブラーニング),さらに実務へのゲートウェイを探究する(不動産所得の経費,サービスと経営成果,経営リテラシー,区分所有法のいわゆる3条団体)。		
授業到達目標/Course goals	「自ら学び,考え,主張し,行動することができる。」「主体性をもって他者と協働できる。」これらのために,紳士・淑女としてゲームを楽しみ,また振る舞えること。ゲームと現実社会との基本的な異同を説明できること。ゲームと人文・社会科学入門とのインターフェイスを説明できること。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ■倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity □主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives □C.技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills □D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ■E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ボードゲームMONOPOLYのプレイヤーと銀行係の両方を体験させる。 □F.教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	ゲームへの関与(30%),小演劇またはレポート課題(30%),筆記試験(40%,持ち込み可)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	レポート課題報告または小演劇にむけて教科書の入手と精読。LACSチェック。開講時までに教科書に目を通しておくことが望ましい。ゲームの流れをYouTubeで予習するのがベストだが必ずしもその必要はない。教科書やLACS講義資料をクラスの終了後や卒業後にあらためて再読すると理解が深まる。(事前2h,事後2h)		
キーワード/Keywords	MONOPOLY, 不動産経営, 資産運用, 複式簿記, 抵当権, 処世術・交渉術, 土地・税制・税法, 民法, 区分所有法とその関連法令		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書: 林徹(2023)『モノポリーで学ぶビジネスの基礎(第3版)』中央経済社。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	対面のみ。必修PC(Windows10以上)。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では,全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため,修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては,担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考/Remarks	すべて対面で実施。
学生へのメッセージ/Message for students	長崎大学生協などで教科書を入手のうえ,開講時と試験時に持参してください。やむを得ない事情により遅刻・欠席をする,またはした場合は,それが正当な事由であることを第三者に証明できる書面を保管して,すみやかに教員宛に連絡してください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	林徹/横浜国立大学経営学部第二部経営学科夜間5年課程(所得税法上の勤労学生:1983-1988)に在籍中,老舗割箸小売商,有限会社遠州屋商店(横浜市中区長者町)において,横浜・川崎・藤沢・鎌倉などに位置する割烹・懷石・中華・その他飲食店・弁当加工工場などの取引(御用聞き・配達・納品・請求書手交・各種クレーム対応・約束手形と小切手の取扱を含む集金・営業と挨拶まわり),視覚障がいをおもちの内職さんとの取引(割箸袋への割箸の挿入),その他の経験/商慣行を含む小売商における取引実務の全般,トラブルに対する実践的な対処の紹介。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	すべて対面で実施。 名札記入,記録帳(30%)配布,デモンストレーション,単位認定の説明
第2回	ゲーム1 とにかくやってみる
第3回	ゲーム2 とにかくやってみる
第4回	ゲーム3 ボード上のマスすべてとカード32枚の確認
第5回	ゲーム4 筆記試験(40%)案内
第6回	ゲーム5 公式ルール確認(競売,交渉・取引,家・ホテル,JAIL)
第7回	ゲーム6 公式ルール確認(キャッシュ,抵当・解除,破産,その他)
第8回	ゲーム7 不動産経営に関するサイトの紹介
第9回	ゲーム8 試験範囲に関する質疑応答
第10回	筆記試験(持ち込み可)
第11回	レポート課題または小演劇(30%)の準備・相談・手伝い1
第12回	レポート課題または小演劇の準備・相談・手伝い2,筆記試験返却と講評
第13回	レポート課題報告(単独)または小演劇1(グループまたは単独)
第14回	レポート課題報告(単独)または小演劇2(グループまたは単独)
第15回	ゲーム9 または交歓会(記録帳提出)
第16回	講評と意見交換

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240588026701	科目番号 / Course code	05880267
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 16661_002		
授業科目名 / Course title	●今と昔の長崎に遊ぶ(人文・社会科学科目 2021年度入学生は総合科学科目) / Enjoy Thinking about Old and Modern Nagasaki		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	南森 茂太 / Minamimori Shigeta, 木村 直樹 / Naoki KIMURA, 増崎 英明 / Masuzaki Hideaki, 布袋 厚 / Atsushi Hotei, 井手 弘人 / Ide Hiroto, 全 炳徳 / Jun Byungdug, 山口 敦子 / Yamaguti Atuko, 中島 貴奈 / Nakajima Takana, 安武 敦子 / Yasutake Atsuko, 前田 桂子 / Keiko Maeda, 吉良 史明 / Kira Fumiaki, TOET RUDY, 榎本 由貴 / Kashimoto Yuki, 田口 由香 / Taguchi Yuka		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	南森 茂太 / Minamimori Shigeta		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	南森 茂太 / Minamimori Shigeta, 木村 直樹 / Naoki KIMURA, 増崎 英明 / Masuzaki Hideaki, 布袋 厚 / Atsushi Hotei, 井手 弘人 / Ide Hiroto, 全 炳徳 / Jun Byungdug, 山口 敦子 / Yamaguti Atuko, 中島 貴奈 / Nakajima Takana, 安武 敦子 / Yasutake Atsuko, 前田 桂子 / Keiko Maeda, 吉良 史明 / Kira Fumiaki, TOET RUDY, 榎本 由貴 / Kashimoto Yuki, 田口 由香 / Taguchi Yuka		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 人文・社会科学科目, 総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	shigeta373mori▲nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は▲を@に置き換えてください)ただし、メールでの問い合わせの回答は遅れる可能性があるのでLACSのメッセージ機能をご利用ください。		
担当教員研究室/Office	経済学部本館6階625番研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にアポイントをとること。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	この授業では、長崎の歴史・文化・経済・言語・哲学等のプロフェッショナル15人が、長崎の隠された魅力を講義し、学生のみなさんとともにその魅力をさらに深く探求していきます。 みなさんがご存知の通り、長崎は諸外国との窓口の役割を長らく果たしてきました。ポルトガル・オランダ・中国を始め、外国の文化が流れ込み、日本の文化と融合した都市、それが長崎です。つまり、グローバル化が叫ばれる現代に先駆けて、数百年も前からグローバル化が行われていたのです。その長崎文化の魅力と本質を長崎という文化空間に即して解明すること、いうなればグローバル(グローバルとローカルを掛けた造語)な視点からの検証を行うことが本講義の目的です。長崎の地に住んだ人々がどのように長崎の文化を形作ってきたのか。15回の講義を通して、幅広い教養を身に付け、その教養を駆使して、この疑問に対する答えをともに導き出していきましょう。		
授業到達目標/Course goals	この授業では、今と昔の長崎の魅力を深く探求し、その魅力を学生のみなさん一人一人が国内外に向けて発信していけるようになることを大きな目標として掲げます。以下は、その詳細です。 様々な文献・資料に基づき、長崎の魅力を調べることができる。 長崎の町がどのようにして作られてきたか、歴史に照らして考察することができる。 深く探求した長崎の魅力と歴史的な位置付けを自身の言葉で取りまとめ、様々な人に伝えることができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☒ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☒ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives ☐C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills ☐D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers		

成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	成績評価は、次の２つの項目から行います。 期末レポート ３０％ 全１５回の講義から得たヒントをもとに、みなさんが長崎の文化を詳しく調べ、その魅力をレポートに取り纏めるものです。いまだ解き明かされていない長崎文化の魅力にみなさんがどのようにアプローチするか、独創的かつ具体的なレポートであることを重視します。 コメントカード ７０％ 各回の授業終わりの１０分間を使い、その回の講義から学んだこと、疑問、御自身の考え等をコメントカードとしてGoogle Form等に記入します。	
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照	
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習においては、教科書の内容を読んでおくこと。また、長崎の文化に関して、各回授業のキーワードをもとに図書館2階配架の参考書籍を読み、調べてくること（各回2時間程度の予習）。 また、事後学習にあたっては、授業内容、さらに参考書籍を再度読み直し、自身独自の観点から長崎文化を深く探求すること。さらに、長崎歴史文化博物館および長崎県美術館と本学はキャンパスメンバーズの提携をしており、無料もしくは半額程度で常設展特別展を観覧できます。同博物館と美術館には長崎の歴史文化を物語る数多くの資史料が収蔵展示されていますので、学期中一度は足を運ぶことを必須とします。（各回2時間程度の復習かつ独自学習）。	
キーワード/Keywords	長崎、詳細は各回の授業キーワードを参照	
教科書・教材・参考書/Materials	『今と昔の長崎に遊ぶ』（九州大学出版会、2021年）。また、参考書は、図書館2階に授業資料コーナーを作り配架していますので、皆さんぜひ積極的に読んで下さい。参考書は、各回担当教員の著書、また学術論文等です。	
受講要件（履修条件）/Prerequisites	長崎に興味がある方は、どなたでも大歓迎です！	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考/Remarks	授業は対面実施の予定です。	
学生へのメッセージ/Message for students	みなさんがいまいるこの長崎は、国内はもちろん世界からも注目されている街です。長崎の魅力を深く、そして多角的に考えることを通して、その魅力を世界に向けて発信していきましょう。また、グローバル化社会に生きる私たちが明日をより良く生きるための力とヒントが長崎の街には隠されています。その隠されたヒントをとともに見つけていきましょう。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回 4月10日	南蛮時代の長崎 増崎英明 《宣教師》対面授業	A B
第2回 4月17日	ポルトガル人が聞いた室町末期の長崎ことば 前田 桂子 《長崎方言》対面授業	A B
第3回 4月24日	近世貿易都市長崎の特質を考える―尾曲がり猫はどこからきたか―木村直樹 《長崎貿易》対面授業	A B
第4回 5月8日	長崎八景―漢詩から長崎版画へ 中島貴奈 《長崎名所》対面授業	A B
第5回 5月15日	長崎の鎮守諏訪神社 吉良史明 《国学》《外国文化》対面授業	A B
第6回 5月22日	復元！被爆直前の長崎 布袋厚 《長崎の街の復元》対面授業	A B
第7回 5月29日	倉場富三郎が遺した日本西部及南部魚類図譜（通称：グラバー図譜）山口敦子 《グラバー図譜》対面授業	A B
第8回 6月5日	出島オランダ商館で書かれた最後の日本文典の成立とその背景 TOET RUDY 《『日本文法稿本』》対面授業	A B
第9回 6月12日	長崎における海軍伝習 南森茂太 《海軍伝習》対面授業	A B
第10回 6月19日	幕末期における長崎のグラバー商会と志士たち―長州藩・薩摩藩のイギリス留学― 田口由香 《幕末の志士》対面授業	A B

第11回 6月26日	近代俳句が見つめた長崎—水原秋櫻子を中心に— 樫本 由貴《原爆俳句》対面授業	A B
第12回 7月3日	長崎に誕生した西洋式病院—長崎小島養生所— 安武敦子 《西洋式建築》対面授業	A B
第13回 7月10日	武士が、砂糖で、商人へ —長崎の明治期士族授産事業からみる「近代知」の流れ — 井手弘人 《明治の近代化の内実》対面授業	A B C D
第14回 7月17日	長崎の岬を3Dで表現してみる 全炳徳 《長崎の岬》対面授業	A B
第15回 7月24日	軍艦島の今と未来 出水享 《軍艦島》対面授業	A B D

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/06/10		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240594000901	科目番号 / Course code	05940009
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	●お金を通して社会・人間を考える(人文・社会科学科目) / Money, Society and Economy		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	式見 雅代 / Shikimi Masayo		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	式見 雅代 / Shikimi Masayo		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	式見 雅代 / Shikimi Masayo		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	mshikimi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Office	本館612		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	講義の前後で対応します (メールで事前予約のこと)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	初級レベルの金融論を講義します。金融に関する基礎知識を習得することを目指します。		
授業到達目標 / Course goals	長崎大学HP の教育理念とディプロマ・ポリシーを見てください。 本講義は、DP1、DP2、DP6 を授業到達目標としています。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☒ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☒ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	期末試験を100%とします。基本、対面で授業を行います。尚、新型コロナウイルスの感染拡大等の事態が生じた場合は変更がありうるため、初回の講義に必ず出席し、IACSの資料でも確認すること。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学修の内容 / Preparation & Review	教科書をよく読み、予習・復習をしてください(各2H)。演習問題は必ず自分で解いてください。		
キーワード / Keywords	金融機関、取引費用、不確実性、情報の非対称性、金融取引、リスク		
教科書・教材・参考書 / Materials	【教科書】 晝間文彦『基礎コース 金融論』第4版、2018年。 【参考書】 細野薫・他『グラフィック金融論』第2版、2019年。 前田康男・鹿野嘉昭・酒井良清著『金融論をつかむ』有斐閣、2006年。 岩田規久男『金融入門』東洋経済新報社、2008年。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	初級レベルの経済学、統計学の知識があることを前提とします。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	基本、対面で授業を行います。新型コロナウイルスの拡大等の事態が生じた場合は変更がありうるため、初回の講義に必ず出席し、lacsの資料でも確認すること。
学生へのメッセージ/Message for students	授業の進捗状況により、シラバス内容や授業の進め方、教科書の使用範囲などを調整変更することがあります。学習方法としては、教科書をよく読むことを勧めます。新聞等で報道される金融に関するニュースに関心を持ってください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1回	ガイダンス 本講義で学ぶことを鳥瞰します。
2回	金融の基本的機能
3回	貨幣の機能と資金循環
4回	金融機関の機能と役割（１）金融機関の存在理由
5回	金融機関の機能と役割（２）情報の非対称性と逆選択
6回	金融機関の機能と役割（３）情報の非対称性とモラルハザード
7回	金融市場
8回	外国為替市場と為替レート
9回	利子率、債券の種類と利回り
10回	株価の決定
11回	家計の金融行動（１）消費と貯蓄
12回	家計の金融行動（２）不確実性下の選択行動と保険購入
13回	家計の金融行動（３）家計の金融資産選択行動
14回	家計の金融行動（４）家計の金融資産選択行動
15回	まとめと復習
16回	授業の総括（期末試験含む）

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 2クォーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2024/06/11 ~ 2024/08/07		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240594001701	科目番号 / Course code	05940017
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	●異文化理解の実際(人文・社会科学科目) / Understanding of Different Cultures		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri, Collins William / William Collins, 楊 曉安 / Yang Xiaolan, 廣江 顕 / Akira Hiroe, 西原 俊明 / Nishihara Toshiaki		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri, Collins William / William Collins, 楊 曉安 / Yang Xiaolan, 廣江 顕 / Akira Hiroe, 西原 俊明 / Nishihara Toshiaki		
科目分類 / Course Category	言語・異文化理解科目, 人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ahiroe▲nagasaki-u.ac.jp (廣江) eohashi▲nagasaki-u.ac.jp (大橋) t-nishi▲nagasaki-u.ac.jp (西原) xiaolan▲nagasaki-u.ac.jp (楊) william▲nagasaki-u.ac.jp (コリンズ) (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	環境科学部棟1階		
担当教員TEL/Tel	(095)819-2378 (廣江) (095)819-2087 (大橋)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	各教員へメールにて連絡をし、アポイントを取ること。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	この授業では、まず、英語、中国語、フランス語という言語を起点にし、日英中仏の言語文化の共通点、相違点を比較検討する。さらに、異文化理解をするうえで、「衣」「食」等の身近な話題から、海外の文化や風習など様々な話題を考察することができる。最後に年々増加している国際結婚を通して、それぞれの国の社会、宗教、政治、法律の相違を調査し、他者的な視点で自己の理解を相対化し、相互理解を深める。文化という言葉の起源を探り、コミュニケーションや文脈という観点から共生思想を熟考することをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	アクティヴラーニングを取り入れた授業方法を取り、以下の4点を到達目標とする。 1) 学生自身が、自主的に学習目標を立ち上げ探究する力をつける。 2) 適切な学習計画を実行し、仲間と議論、熟考し、それを発表することを通し多様性を理解する能力を身につける。 3) 学習成果を相互的に評価し、相互啓発志向を高めることを目標とする。 4) 以上の3点を通して相互の信頼、尊敬及び扶助、表現の自由、他者の意見の受容を獲得する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity □主体性 / Autonomy □協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives □C.技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills □D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	西原(15%), 楊(15%), コリンズ(20%), 廣江(25%), 大橋(25%) *詳しい内訳は、授業時にアナウンスする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習として課題及び授業トピックについての下調べ2時間、事後学習として関連文献等のチェック2時間	
キーワード/Keywords	異文化理解、語、文化、共生思想、	
教科書・教材・参考書/Materials	特定の教科書は採用しない。	
受講要件（履修条件）/Prerequisites	各人が 1)プレゼンテーションをする 2)ディベートに参加する 3)レポートを書く 4)授業外学習に週平均2時間程度を充てること、 参考資料をきちんと読むこと。	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考/Remarks	本授業は、原則、対面で行う。なお、オンライン形式（Zoomを使用）で行う場合は、事前にメールで配信する。	
学生へのメッセージ/Message for students		
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	廣江 顕/高等学校英語教員としての実務経験/高等学校英語教員としての実務経験を踏まえ、高等学校の現場での英語科目の授業構成、指導法等々の変遷や『学習指導要領』の解説を行なっている。 佐賀県立致遠館高等学校 佐賀県立唐津東高等学校	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	担当教員：廣江 (1)異文化理解の構成要素 (2)「ステレオタイプ論」	A B
第2回	担当教員：廣江 (1)「Lost in Translation」視聴	A B
第3回	担当教員：廣江 (1)「Lost in Translation」視聴 (2)ディスカッション	A B
第4回	担当教員：廣江 (1)外国人留学生によるトーク 「ここがヘンだよ日本！」 (2)外国人留学生によるトーク 「ここがヘンだよ日本！」	A B
第5回	担当教員：楊 日本語と中国語 (語族・言語類型・両言語の方言・両言語の音声系統・両言語の文字・両言語の語彙・両言語の文法)	A B
第6回	担当教員：楊 同音・語順と中国文化 (語音による置換と縁起かつぎ・中国語の語順と中国文化)	A B
第7回	担当教員：大橋 国際結婚の相違について< 1 > 1) 国際結婚をテーマとし、アクティブラーニング型の授業を実施することを説明する 2) 「日本の結婚制度の成立」、「欧米のキリスト教社会の結婚」「中東、アフリカのイスラム教社会の結婚」「アジア各国の結婚（韓国、中国、東南アジア）」の歴史と現状についてバランスよく情報を提供する。	A B

第8回	担当教員：大橋 テーマとゴールの設定＜ 2 ＞ 1) それに基づいて各チームで国際結婚についてのテーマを考える（結婚、離婚、養育権、一夫多妻、宗教、恋愛など） 2) 各グループで具体的に何をテーマにすべきかを考え、役割分担、各自の仕事を確認する。	A B
第9回	担当教員：大橋 情報リサーチ ＜ 3 ＞ 1) インターネット、書籍、新聞、映画等から各自で集めた情報、あるいは外国人にインタビューした結果をグループで共有する。 2) 情報の取捨選択・分析し、討論する。 3) スライド作成	A B
第10回	担当教員：大橋 プレゼンテーション＜ 4 ＞ 1) 各グループで、プレゼンテーションをして質疑応答をする。 2) それらを学生相互で採点する。	A B
第11回	担当教員：西原 Socio-pragmatic failureについて一言語学的視点から	A B
第12回	担当教員：西原 異文化理解の指標－Hosted 6 dimensionとPolitenessから	A B
第13回	担当教員：コリンズ Material and Non-Material Culture; American Culture I; Comparative Culture Presentation Group work	A B
第14回	担当教員：コリンズ Comparative Culture Group Presentations; Stereotypes Group Work	A B
第15回	担当教員：コリンズ Hofstede 6 Cultural Dimensions	A B

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 2クォーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2024/06/11 ~ 2024/08/07		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240594002101	科目番号 / Course code	05940021
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	●環境問題の歴史から学ぶ(人文・社会科学科目) / The History of Environmental Problems		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	白川 誠司 / Seiji Shirakawa, 大田 真彦 / OTA Masahiko, 五島 聖子 / Goto Seiko		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	白川 誠司 / Seiji Shirakawa		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	白川 誠司 / Seiji Shirakawa, 大田 真彦 / OTA Masahiko, 五島 聖子 / Goto Seiko		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟44 / RoomB-44		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	白川: seijishirakawa▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください) 五島: gotos▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください) 大田: masahikoota▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	環境科学部3F 環321 白川教員室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2734		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日17:00 ~ 18:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	現在存在する環境問題の解決策を考える上で、過去の環境問題とその解決法や取り組みについて知ることは重要である。本講義では、様々な視点で過去および現在の環境問題について知ること、環境問題について深く考える。また、講義で得た新たな知識を参考に、自分自身の環境問題に対する姿勢を深く考えていく。		
授業到達目標/Course goals	日本や海外の環境問題のいくつかの事例に歴史について説明できる。環境問題に対する自身の姿勢および意見を他者に述べることができる。他者の環境問題に対する姿勢および意見に対する議論を行うことができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ■ 倫理観 / Ethics ■ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	各講義ごとのレポートによる評価(50%)、授業への貢献度(50%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学修の内容/Preparation & Review	復習: 講義内容の復習 (1コマ毎 4 h)		
キーワード/Keywords	環境問題、公害、社会システム、資源利用		
教科書・教材・参考書/Materials	必要に応じて資料を配布		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	環境問題に関心を持っている。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	1回目から5回目までの講義は対面での実施となります。6～15回目までは講義開始後にアナウンスします。
学生へのメッセージ/Message for students	環境問題について再度じっくり学び、考え直すことで、今後の環境問題に対する意識を高めて欲しい。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回：6/12, 3限	白川担当 講義の概要
第2回：6/12, 4限	白川担当 公害問題 1
第3回：6/19, 3限	白川担当 公害問題 2
第4回：6/19, 4限	白川担当 公害と化学
第5回：6/26, 3限	白川担当 公害問題について考える
第6回：6/26, 4限	五島担当 都市緑地について
第7回：7/3, 3限	五島担当 ヨーロッパの産業革命と公害問題（イギリス）
第8回：7/3, 4限	五島担当 ヨーロッパの産業革命と公害問題（フランス）
第9回：7/10, 3限	五島担当 日本の自然観について
第10回：7/10, 4限	五島担当 明治以降の日本の都市緑地について
第11回：7/17, 3限	大田担当 近代以前の資源循環
第12回：7/17, 4限	大田担当 食料生産と土地利用
第13回：7/24, 3限	大田担当 日本における人間－森林関係
第14回：7/24, 4限	大田担当 世界各地の人間－森林関係
第15回：7/31, 3限	大田担当 人類の未来と資源利用を考える

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 2クォーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2024/06/11 ~ 2024/08/07		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240594002901	科目番号 / Course code	05940029
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	● 芸術の世界(人文・社会科学科目) / The World of Art		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	牧野 一穂 / Kazuho Makino		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	牧野 一穂 / Kazuho Makino		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	牧野 一穂 / Kazuho Makino		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	1,2,3,4		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kmakino▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部美術技術棟 2 階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2350		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日 3 限		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	近代以降の美術の概観の学習と、簡単な素描を通して、美術の仕組みを理解し教養の拡充に努める。		
授業到達目標/Course goals	1、近代以降の美術史と問題意識が理解できるようになる。 2、素描を通して、その仕組みが理解できるようになる。 (分野・領域を超えて活用できる汎用可能な技能を身につけている。)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■ 汎用的能力 / Generic Competence □ 倫理観 / Ethics □ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■ 主体性 / Autonomy □ 協働性 / Cooperativeness □ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over □ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	LACSに1500点分の問題あるいはレポートを用意し、講義において授業をした後、回答する。この点数の積み重ねによって60%以上を段階的に評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習：適宜、講義内で指示します。(2H) 復習：適宜、講義内で指示します。(2H)		
キーワード/Keywords	素描・近代美術		
教科書・教材・参考書/Materials	授業内で配布します。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	素描を中心に行うため、鉛筆など素描用具が必要です。オリエンテーション時に詳細をお知らせします。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		

備考/Remarks	授業は、オンラインと書かれたものについてはリアルタイムで実施します。対面と書かれたものについては、講義室で授業を行います。初回で授業計画を説明しますが、状況によっては、変更する場合があります。その際は、LACSで連絡します。また、授業ごとに素描した作品は、最終回で、実物をまとめるのに使用しますので、捨てないようにしてください。	
学生へのメッセージ/Message for students	学習内容を他人に伝えられるように、復習を重点的に行ってください	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	N	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	オリエンテーションと近代以降の美術の造形意識について（リアルタイムオンライン）	A
第2回	基本形態と明度・彩度とパースペクティブなどの造形のルールについて（リアルタイムオンライン）	A
第3回	素描（直方体・立方体）について（リアルタイムオンライン）	A C
第4回	素描（球・円柱）について（リアルタイムオンライン）	A C
第5回	素描（多面体）について（リアルタイムオンライン）	A C D
第6回	素描（複数の基本形態の組み合わせ）について（リアルタイムオンライン）	A C D
第7回	構図と素描の関係について（対面）	A C
第8回	素描（想定された状況における造形）について（対面）	A D
第9回	素描（支持体の明度が反転した状況における）の概念について（対面）	A D
第10回	素描（支持体の明度が反転した状況における）の実際について（対面）	A D
第11回	素描と関係（完成度）について（対面）	A D
第12回	素描と関係（バールール）について（対面）	A D
第13回	素描（自画像）描きだしについて（対面）	A D
第14回	素描（自画像）完成について（対面）	A D
第15回	まとめ（対面）	A

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2024/11/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240594003101	科目番号 / Course code	05940031
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	● 国際比較刑事法入門—グローバル化する犯罪と刑事手続(人文・社会科学科目) / Introduction to International Comparative Criminal Law : Globalization of Crimes and Criminal Procedure		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	河村 有教		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	河村 有教		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	河村 有教		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学部対象		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kawamura▲nagasaki-u.ac.jp (▲→@)		
担当教員研究室/Office	総合研究棟(多文化社会学研究科・多文化社会学部)11階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2953(研究室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにてアポイントを取ってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本講義では、刑事法(刑法、刑事訴訟法、少年法等)の基礎について学習する。各国の国内法によってどのような行為が犯罪となるのかは異なる。また、犯罪に対する刑罰についても同様に異なる。日本の刑法では死刑が刑罰の一つに規定されているが、死刑をめぐる「人権」との関係で国際社会による批判もある。どのような人権が憲法・基本法で保障されているのか、人権の保障も各国の国内法の内容は様々である。犯罪がグローバル化する中で、各国の間では刑事司法共助に関する条約の締結が進められているが、刑事司法共助をめぐる課題も多い。本授業では、日本の刑事法を中心に学習しながら、「香港における人身の自由」やカルロス・ゴーン国外逃亡の問題等にもふれ、「外」の視点(グローバルな視点)も重視しながら、各国の「法」を比較することにより日本の刑事法について見つめなおす。		
授業到達目標/Course goals	「自ら学び、考え、主張し、行動すること」ができ、「分野・領域を超えて活用できる汎用可能な技能を身につける」ことを目的とする(全学共通のディプロマ・ポリシー)。既存の法及び制度を批判的に論じ、よりよい法や制度となるように、未来社会を構想し得る力を涵養する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■ 汎用的能力 / Generic Competence □ 倫理観 / Ethics □ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■ 主体性 / Autonomy □ 協働性 / Cooperativeness ■ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	□ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over □ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ■ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	期末試験を実施する(60%)。授業への出席及びコメントシートの提出(40%)。 万一オンライン授業になった場合には、レポート等の課題を課し、レポートの提出を求めることもある。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	教科書については、事前の予習、事後の復習の教材としても役立ててください。授業のテーマに関わりそうな図書や雑誌、新聞記事等の資料を読み、「法と人権」の問題について考えること。(予習2時間・復習2時間)		
キーワード/Keywords	刑法, 刑事訴訟法, 少年法, 犯罪, 刑罰, 刑事手続, 刑事司法共助		

教科書・教材・参考書/Materials	【教科書】河村有教『入門刑事訴訟法【第2版】』（晃洋書房，2022年） 教科書等については、初回の講義で教科書・参考書等の説明を聞いて確認したうえで購入してください。 『ポケット六法』（有斐閣）の購入をお勧めします（『デイリー六法』（三省堂）も可です）。試験で六法の持ち込みを可としています。不正行為防止の点から試験では、PCやi phone等を利用した六法検索は認められません。法律改正や新しく立法される法律があるので、六法については最新版を購入のこと。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	本講義は、すべて対面で実施する予定です（試験を含みます）。
学生へのメッセージ/Message for students	文系の学生のみならず、刑法、刑事訴訟法、少年法等の刑事法に関心のある理系の学生を歓迎します。法律の条文を自分の目で確認しながら、楽しく学習しましょう！
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	「法」とは何か？「法」は私たちの生活にどのような意義を有しているのか？
第2回	私たちが法的責任を問われるとき－刑事事件と民事事件
第3回	人身の自由とDue Process of Lawの保障
第4回	刑法と罪刑法定主義－「香港における人身の自由」を考える
第5回	絞首刑（死刑）という刑罰について考える
第6回	警察による犯罪の予防と犯罪の捜査－法律と判例による統制
第7回	GPS捜査は任意捜査として許されるのか？－日米の判例から
第8回	警察による強制的な身柄確保・拘束－国外逃亡者カルロス・ゴーンの声明を考える
第9回	警察による強制的な証拠の収集
第10回	死因究明における調査と犯罪捜査の課題－法医学への期待
第11回	検察官による公訴の提起
第12回	検察審査会について考える
第13回	刑事裁判における事実認定と量刑
第14回	刑事裁判での使ってよい証拠とよくない証拠
第15回	刑事裁判と少年審判は何がどう違うのか？
第16回	期末試験

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2024/11/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240594003301	科目番号 / Course code	05940033
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	● 市民社会と法(人文・社会科学科目) / Civil Society and Law		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 人文・社会科学科目, 選択科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nishitsu.nu▲gmail.com (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	家族、相続、ジェンダー、消費者、不動産、事故。社会の一員として生きるうえで誰もが関わりうる身近な6つの分野について、法がどのように規律しており、それに基づいて社会で何が行われ、実際の争いにおいて裁判所がどのように判断したのかなどを学ぶ。また、将来みなさんが市民として関わるかもしれない裁判員制度についても理解を深める。 この授業は5・6校時に連続で行うので、基本的にその連続した時間で一つのテーマを扱う。		
授業到達目標/Course goals	私法の基礎的な用語と定義が説明できるようになる。 社会における具体的な問題について、法的思考力をもって論じることができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy □協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over □B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業内で行う小テスト40点、定期試験60点の合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習 各回のテーマについて予めネットで情報収集し、自分の考えをまとめておくこと。(2h) 復習 配布資料やノートを再読し、理解を確実にするよう努めること。(2h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	資料を配布し、必要に応じて参考文献を指示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考/Remarks	対面(オンライン含む)形式で行う。		
学生へのメッセージ/Message for students	新聞やニュースを見て、授業で得た知識と関連づけるような心がけること。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	法とは1 (基礎) ささまざまな法分野、裁判制度を概観する。また、市民が刑事裁判に参加することの意義を考え、裁判員制度への理解を深める。(対面)
第2回	法とは2 (発展) (対面)
第3回	家族と法1 (基礎) 婚姻、離婚、親子、養子など社会の最小単位ともいえる家族における法を学ぶ。(対面)
第4回	家族と法2 (発展) (対面)
第5回	相続と法1 (基礎) 親が死亡した場合に残された遺産を家族でどのように分けるのか、家族財産の処遇について学ぶ。(オンライン)
第6回	相続と法2 (発展) (オンライン)
第7回	ジェンダーと法1 (基礎) 生物学的性別とは異なる社会的性別をジェンダーという。家族や企業、政治など様々な社会でのジェンダーバランスについて、法はどのような役割を果たしているのかについて学ぶ。(オンライン)
第8回	ジェンダーと法2 (発展) (オンライン)
第9回	消費者と法1 (基礎) 私たちは誰もが消費者である。圧倒的に多くの情報をもつ企業と情報力に乏しい消費者との争いをどのように解決するのかについて学ぶ。(対面)
第10回	消費者と法2 (発展) (対面)
第11回	不動産と法1 (基礎) 不動産とは土地と建物のことである。一人暮らしをしている学生は家主とマンションの賃貸借契約を結んでいるだろうし、将来的にはローンを組んで家を買うかもしれない。そのような不動産取引と法について学ぶ。(対面)
第12回	不動産と法2 (発展) (対面)
第13回	事故と法1 (基礎) 他人の持ち物をうっかり壊した場合に「弁償する」などという。また、自動車の運転免許証を取得する際には交通事故の「損害賠償」という語を教わるだろう。これら事故を解決する法について学ぶ。(対面)
第14回	事故と法2 (発展) (対面)
第15回	総復習 (オンライン)
第16回	定期試験 (オンライン)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 4クォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2024/11/28 ~ 2025/02/07		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240594003501	科目番号 / Course code	05940035
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	● 社会と教育(人文・社会科学科目) / Education in Society		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	酒井 友文		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	酒井 友文		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	酒井 友文		
科目分類 / Course Category	社会連携・キャリア教育関連科目, 人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tomohumi▲nagasaki-ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部5階527号室(酒井)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2903		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メール対応(随時)tomohumi▲nagasaki-ac.jp		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	○学力、いじめ等支援を要する児童への対応、防災教育等、現在日本の教育が抱えている課題について理解する。 ○グローバル化、少子高齢化等、急激に変化する社会の中で次代を生きる世代に求められる教育の在り方を考える。 ○社会の変化、実態を「教育」という視点から捉え、自分が将来目指している職に就くために身に付けるべき資質・能力等について考える。		
授業到達目標/Course goals	○教育課題及び教育現場の現状・取組みについて理解し説明することができる。 ○現在の日本の教育に対し自分の意見を持ち、職業人、社会人、家庭を築く人として教育にどのように向き合えばよいのか具体的に述べることができる。 ○自分が目指している将来の職業に就くために必要な力は何かを理解し、身につけるための実践ができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■ 主体性 / Autonomy ■ 協働性 / Cooperativeness ■ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives ■ C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	レポート・課題、協議等への参画・態度(70%) 試験(30%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	○次時の資料確認とグループ協議のテーマに関連した事前学習(2h) ○授業後の振り返りレポート作成の事後学習(2h)		
キーワード/Keywords	求められる学力 家庭・地域社会・学校の連携 危機管理(子どもの心と命)		
教科書・教材・参考書/Materials	学習指導要領、教育委員会等行政機関が発行している資料、新聞・インターネット等で取りあげられている記事及び配布資料等		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948	
備考/Remarks	授業は対面方式で実施します。状況によって変更する場合はLACSで連絡します。	
学生へのメッセージ/Message for students	やがて改めて教育と向き合う時がきます。教育を通して見える社会、社会の変化を通して見える教育の姿を協議を通して深めたいと考えています。次代を生きる社会人として、職業人として、家庭を築く人として求められる資質・能力について考える機会にしましょう。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	酒井友文/小学校教員の経験あり。	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回12月4日(水)	教育の現状・課題 1（対面）	A B
第2回12月4日(水)	教育の現状・課題 2（対面）	A B C
第3回12月11日(水)	求められる学力 1（対面）	A B C
第4回12月11日(水)	求められる学力 2（対面）	A B C
第5回12月18(水)	学校における危機管理 1（対面）	A B C
第6回12月18日(水)	学校における危機管理 2（対面）	A B
第7回1月8日(水)	支援を要する児童生徒 1（対面）	A B C
第8回1月8日(水)	支援を要する児童生徒 2（対面）	A B
第9回1月15日(水)	家庭・地域の教育力 1（対面）	A B
第10回1月15日(水)	家庭・地域の教育力 2（対面）	A B
第11回1月22日(水)	ふるさと教育とグローバル社会 1（対面）	A B C
第12回1月22日(水)	ふるさと教育とグローバル社会 2（対面）	A B
第13回1月29日(水)	キャリア教育 1（対面）	A B C
第14回1月29日(水)	キャリア教育 2（対面）	A B C
第15回2月5日(水)	社会と教育まとめ(教育の不易と流行)（対面）	A B D
第16回2月5日(水)	テスト(小論 2題予定)（対面）	A

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2024/11/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240594004101	科目番号 / Course code	05940041
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	● 租税と社会(人文・社会科学科目) / Tax and Society		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	森田 顕仁 / MORITA AKIHITO		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	森田 顕仁 / MORITA AKIHITO		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	森田 顕仁 / MORITA AKIHITO		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	経済学部は除く		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	akihito.m▲nagasaki-u.ac.jp (メール送信時は▲を@に変更してください。)		
担当教員研究室/Office	経済学部キャンパス(片淵キャンパス)の本館(学務係が1階にある棟)6階602号室		
担当教員TEL/Tel	095-820-6331		
担当教員オフィスアワー/Office hours	いつでもどうぞ(オンラインでも可能です)。ただし、メールでのやりとり以外については、事前に日程調整メールをください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	租税の概略について、社会との関わりに触れつつ解説する。このことを通じて、租税の社会における役割などを理解する。なお、授業は原則として対面で実施。		
授業到達目標/Course goals	租税の仕組みなどについて把握するとともに、租税の社会における役割などを理解した上で、今後の租税のあり方などについて自ら学び、考え、主張し、行動することができるようになる(DP1)。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	出席点20点、期末試験80点(追試についてはレポート)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	所得税の部分については、計算方法の予習を行うことが望ましい。一般的な事前、事後学修の内容は以下の通り。 準備学習:LACS上に事前に講義用スライドを掲載するので、あらかじめ目を通して講義の流れを把握しておく(2h) 復習:講義用スライドおよびLACS上の資料により復習を行う。特に、講義中に行う確認テストについては復習し、よく理解しておくこと(2h) 質問がある場合には、わからないままにしておかず、必ず教員に質問して解決すること		
キーワード/Keywords	租税、税、税務行政、租税手続き		
教科書・教材・参考書/Materials	不要とする代わりに、授業にはPCを持参してください。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	特にありません。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は原則として対面で実施します。 受講者数にもよりますが、能動的に租税に対する理解を深められるよう、グループワークを取り入れることもあります。
学生へのメッセージ/Message for students	初回の授業で示します。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	森田 顕仁 / 税務行政 / 税務、租税手続き、租税法の企画・立案（税制改正）、国際課税などに携わった経験を活かし、授業を進めます。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション（授業の進め方・予定など）
第2回	租税と社会について
第3回	租税と社会について
第4回	租税と社会について
第5回	租税と社会について
第6回	租税と社会について
第7回	租税と社会について
第8回	租税と社会について
第9回	租税と社会について
第10回	租税と社会について
第11回	租税と社会について
第12回	租税と社会について
第13回	租税と社会について
第14回	租税と社会について
第15回	租税と社会について
第16回	定期試験

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/06/10		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240594004301	科目番号 / Course code	05940043
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	●地域経済とソーシャルビジネス(人文・社会科学科目) / Regional Economy and Social Business		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	山口 純哉 / Yamaguchi Junya		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	山口 純哉 / Yamaguchi Junya		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	山口 純哉 / Yamaguchi Junya		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	junya-y▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部東南アジア研究所2F		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	Eメールにて質問を受け付ける。 junya-y▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	地域経済とソーシャルビジネスの定義、現状や課題を踏まえて、SDGs、ESG、エシカルやプラネタリーヘルスなどの視点から、個人や組織の社会性と地域経済の持続可能性との関係について学びます。		
授業到達目標/Course goals	1. 地域社会における多様性の重要性について説明できる。 2. 地域社会において社会性と経済性を両立することの重要性や方法について説明できる。 3. 1と2を踏まえて、地域社会の持続可能性について他者と協働して検討できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☒ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☒ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	プレゼンテーション課題50点 + レポート課題50点 = 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習：次回講義で採り上げる事例等について、新聞、TVやインターネットから情報を収集・整理する(2h)。 復習：講義で配布された資料を再読し、理解を確実なものとする(2h)。		
キーワード/Keywords	地域経済、ソーシャルビジネス、SDGs、ESG、エシカル消費、持続可能性		
教科書・教材・参考書/Materials	担当教員作成の資料をLACSにて配布・使用するため教科書等は指定しない。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	特になし		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	地域経済やソーシャルビジネスの現状や課題についてアンテナを高く張って自ら情報を収集することを心がけてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回4月10日(水)3校時	講義ガイダンス
第2回4月10日(水)4校時	地域経済の基礎理論 1
第3回4月17日(水)3校時	地域経済の基礎理論 2
第4回4月17日(水)4校時	地域経済の現状 1 : 長崎県を例に
第5回4月24日(水)3校時	地域経済の現状 2 : 長崎県を例に
第6回4月24日(水)4校時	ソーシャルビジネスの概論
第7回5月8日(水)3校時	ソーシャルビジネスの事例
第8回5月8日(水)4校時	ソーシャルビジネスの課題
第9回5月15日(水)3校時	グループワーク 1 : 地域課題の発見
第10回5月15日(水)4校時	グループワーク 2 : 地域課題の整理
第11回5月22日(水)3校時	グループワーク 3 : 地域課題の解決にかかるアイデア
第12回5月22日(水)4校時	グループワーク 4 : 地域課題の解決にかかる活動計画
第13回5月29日(水)3校時	プレゼンテーション 1
第14回5月29日(水)4校時	プレゼンテーション 2
第15回6月5日(水)3校時	講義のまとめ

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2025/03/31		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240594004501	科目番号 / Course code	05940045
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	●都市環境を考える(人文・社会科学科目) / Introduction to Urban Environment		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	渡辺 貴史 / Watanabe Takashi, 片山 健介 / Kensuke Katayama		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	渡辺 貴史 / Watanabe Takashi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	渡辺 貴史 / Watanabe Takashi, 片山 健介 / Kensuke Katayama		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	環境科学部の学生は除く		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	twatanab▲nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	環境科学部4F 430		
担当教員TEL/Tel	095-819-2718		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日 13:00-14:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	授業の概要：第1回目は、本講義の概要、本講義の全体を通じて基礎となる知識を説明する。以降は、担当教員の専門分野にもとづき、景観(2,3,4,5回目)、緑地(6,7回)、市街地とまちづくり(8,11,12回)、交通(9,10回)、広域計画(13,14,15回)に関わる講義が行われる予定である。 授業の位置づけ：本科目は、長崎市の都市環境を素材とした講義を通じて、多くの人が居住する都市環境を考える際の視点を獲得するための科目です。		
授業到達目標/Course goals	本講義の主要な目標は、各講義を通じて、(1)長崎の都市環境をめぐる歴史と現状を理解する、(2)都市環境とは多面的な側面から構成されていることを理解する、(3)都市環境の維持・発展に向けては様々な考えなければいけないことがあることを理解することです。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
/ Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
/ Activities involving others to think from various perspectives ☐C. 技能修得のために実践する活動
/ Activities to practice for acquiring skills ☐D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐F. 教員からの講義のみで構成される
/ It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験：70%、修学状況：30%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習：授業内容に記載された内容に係る情報を新聞・テレビ・インターネットなどにより調べること。(2h) 復習：レジュメを再読し、理解を確実にするよう努めること。(2h)		
キーワード/Keywords	都市環境、景観、緑地、里山、斜面市街地、交通、まちづくり、国土・地方計画		
教科書・教材・参考書/Materials	教材：ハンドアウトを配付する予定です。 参考書：講義時に各教員が指示する予定です。本講義に大きく関係する参考書としては、以下があります。 谷村賢治・杉山和一・渡辺貴史(2012)：もう一つの長崎さるく 豊かな景観と育んだ歴史的個性・晃洋書房		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	特になし		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では,全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため,修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては,担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考/Remarks	授業は,原則,直接対面形式により実施します。授業形式を変更する場合には,LACS等を介して,連絡します。
学生へのメッセージ/Message for students	新聞・テレビ・インターネットなどを通じて長崎の都市環境をめぐる情報を知することは,本講義の内容を理解する上でとても有用です。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	導入:講義の概要,計画とは何か(渡辺)
第2回	都市環境とは何か,長崎市の概要(渡辺)
第3回	景観の基礎知識(渡辺)
第4回	長崎市の景観の特徴(渡辺)
第5回	長崎市の個性を活かした景観の形成に向けて(渡辺)
第6回	都市環境の形成に果たす緑地の役割(渡辺)
第7回	長崎市の緑地の特徴(渡辺)
第8回	長崎の住宅地の現状と課題(渡辺)
第9回	長崎県における地域公共交通の現状(片山)
第10回	斜面市街地の交通システム(片山)
第11回	長崎市の中心市街地とまちづくり(片山)
第12回	都市環境の形成と都市計画(片山)
第13回	都市環境と広域的視点(片山)
第14回	広域計画にみる長崎(片山)
第15回	長崎の活性化と広域連携(片山)
第16回	定期試験

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2024/11/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240594004901	科目番号 / Course code	05940049
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	●被ばくと社会(人文・社会科学科目) / Exposed to Radiation and Society		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	鈴木 達治郎 / Suzuki Tatsujiro, 奥野 正太郎 / Okuno Shotaro		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	鈴木 達治郎 / Suzuki Tatsujiro		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	鈴木 達治郎 / Suzuki Tatsujiro, 奥野 正太郎 / Okuno Shotaro		
科目分類 / Course Category	社会連携・キャリア教育関連科目, 人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	suzukitatsu▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	核兵器廃絶研究センター(RECNA) 鈴木教授室		
担当教員TEL/Tel	鈴木達治郎 (095-819-2947)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火、木、午後4:00~6:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	「被ばく」という言葉の意味(原爆のみならず、自然放射線や原子力平和利用からの放射線被ばくも含む)を理解するとともに、被爆体験の継承、在外被爆者の実態と課題、平和教育、原爆資料保存の意義と継承の課題、などについて理解を深め、被爆体験や遺構の継承についてその意義とあり方について自ら考える。		
授業到達目標/Course goals	授業は、多様な視点から講義とグループディスカッションによって構成される。講義の内容を理解するとともに、その内容をもとに課題を自ら見つけ出し、その解決方法や自分たちができることを、学生同士のグループディスカッションを通じて、自ら考え、意見を形成していく。情報をただ受け取るだけでなく、自ら情報を取りに行き、そして自ら考え行動できるようになることを目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☒ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	出席 30点、各テーマのレポート 15点×3=45点、最終レポート 25点 合計100点満点		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学修の内容/Preparation & Review	毎回講義後に感想シートとキーワードを提出。各回講義毎に事前・事後学修を各2時間		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	四條知恵「浦上の原爆の語り：永井隆からローマ教皇へ」未来社2015		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		

備考/Remarks	授業は対面で実施する。
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	米澤 紀子/株式会社テレビ長崎 報道部の実務経験を有している。/株式会社テレビ長崎 (報道部) の実務経験を活かし、韓国人被爆者に焦点を当てたテレビ報道や、緻密な取材に基づき、被爆問題の広がりや次世代への継承に関する授業を実施する。/ 林田 光弘/高校生平和大使、被爆者国際署名運動のキャンペーンリーダーなど、学生時代より平和活動に従事。長崎大学核兵器廃絶研究センターでは、被爆前の写真をデジタル化して教材化するプロジェクトに従事。長年の平和活動の経験を通じた継承活動の在り方について講義する/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション (鈴木達治郎) 講義概要の説明、自己紹介
第2回	第2回 原爆被害の概要 山口 響
第3回	第3回 被爆後・占領下の長崎 山口 響
第4回	第4回「被爆者」とは誰か? 山口 響
第5回	第5回 長崎原爆被災の概要に関するまとめ 鈴木 達治郎
第6回	第6回 被爆の実相伝承のデジタル化について 林田 光弘
第7回	第7回 報道を通して「原爆被害」を考える(1) 橋場 紀子
第8回	第8回 報道を通して「原爆被害」を考える(2) 橋場 紀子
第9回	第9回 報道を通して「原爆被害」を考える(3) 橋場 紀子
第10回	第10回 「デジタル化・報道を通して原爆被害を考える」に関するまとめ(学生の意見交換) 鈴木達治郎
第11回	第11回 原爆と歴史(1) 奥野 正太郎
第12回	第12回 原爆と歴史(2) 奥野 正太郎
第13回	第13回 原爆と歴史に関するまとめ(学生の意見交換) 鈴木 達治郎
第14回	全体のまとめの議論(学生のグループワーク)鈴木 達治郎
第15回	学生の発表 鈴木達治郎

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/06/10		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240594005101	科目番号 / Course code	05940051
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	●文字と社会(人文・社会科学科目) / Written Characters and Society		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	鈴木 慶子 / Suzuki Keiko, 中村 文子 / Fumiko Nakamura		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	鈴木 慶子 / Suzuki Keiko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	鈴木 慶子 / Suzuki Keiko, 中村 文子 / Fumiko Nakamura		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟25 / RoomC-25		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	keiko-s▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部514研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2302		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水 5		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	日本語表現のうち文字言語によるものの特徴について、体験的に理解を深める。		
授業到達目標/Course goals	1) 過去現在のあらゆる分野の知見が、文字によって、図書館に格納されていることを体験的に理解することができる。 2) 文字言語との親しい関係を築くことができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	5回の欠席で失格。10回以上出席の場合に、下記で評価する。60点以上で合格とする。 プレゼンテーション、質疑応答 [10%] OB訪問報告書 [30%] 第2単元に関する提出物 [30%] 試験 [30%]		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	図書館での調査、グループでの協議、個人レポートなど、事前事後(各2h)の学習の成果を紙媒体で提出することとします。量ではなく、質を求めます。		
キーワード/Keywords	日常生活、文字言語、親しみ		
教科書・教材・参考書/Materials	『わかりあえないことから』平田オリザ著 講談社現代新書		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	個人で行うこととグループで行うことの両方ができること。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		

備考/Remarks	対面で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	読むことと書くことは、訓練なしでは獲得できません。 意志を以て、読む力と書く力を獲得しましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	鈴木慶子 / 高等学校国語科教員
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回(4/10)	オリエンテーション、受講基礎調査 1冊、自分が所有している本を持参する(コミック以外)
第2回(4/10)	自己紹介のための自己分析, 「興味のあることの変遷表」を作る
第3回(4/17)	グループ分け、グループでの自己紹介
第4回(4/17)	グループの紹介
第5回(4/24)	本のあらまし読み入門 あらまし読みシートの作成
第6回(4/24)	長崎大学附属図書館体験準備
第7回(5/8)	長崎大学附属図書館体験 ; (配架、POP書き) / (資料保全、補習)
第8回(5/8)	長崎大学附属図書館体験 ; (資料保全、補習) / (配架、POP書き)
第9回(5/15)	生まれた日の新聞を読む (附属図書館)
第10回(5/15)	昭和19 (1944) 年のその日の新聞と比較する (附属図書館)
第11回(5/22)	誕生日の新聞紙面と昭和19年当該日新聞紙面の比較 (1) 発表準備
第12回(5/22)	誕生日の新聞紙面と昭和19年当該日新聞紙面の比較 (2) グループで発表
第13回(5/29)	ビブリオバトル(グループ予選、投票)
第14回(5/29)	ビブリオバトル(グループ代表による決勝)
第15回(6/5)	チャンプ本発表、チャンプ本を論評する
第16回(6/5)	定期試験

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240594005301	科目番号 / Course code	05940053
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	● 法学入門(人文・社会科学科目) / Introduction to Law		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	西久保 裕彦 / HIROHIKO NISHIKUBO, 菊池 英弘 / Kikuchi Hidehiro, 本庄 萌		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	西久保 裕彦 / HIROHIKO NISHIKUBO		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	西久保 裕彦 / HIROHIKO NISHIKUBO, 菊池 英弘 / Kikuchi Hidehiro, 本庄 萌		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟34 / RoomB-34		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	西久保 h-nishikubo nagaskai-u.ac.jp 菊池 hkikuchi nagasaki-u.ac.jp 本庄 mhonjo nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は、 を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	西久保 環448 菊池 環406 本庄 環426		
担当教員TEL/Tel	西久保 095-819-2717 菊池 095-819-2725 本庄 095-819-2719		
担当教員オフィスアワー/Office hours	西久保 木曜日1200-1300 菊池 水曜日1100-1200 本庄 随時(事前にメールでアポイントメントをとること)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	法とは何か、法の意義と役割、法の支配など法に関する基本的な考え方と知識を学ぶとともに、日本国憲法に基づく個人の尊重、国民の権利の保障、裁判員制度を含む司法の仕組みなどの国のなりたちや、家族、契約、財産、労働など私たちの暮らしに関係する法のあらましを学びます。		
授業到達目標/Course goals	法に関する基本的な考え方及び知識、日本国憲法に基づく国の仕組み、及び私たちの暮らしに関係する法の概略を理解し、その概要を説明できることが本授業の到達目標です。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ■倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験(80%)、授業への積極的な取組状況(20%)の割合で評価します。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習: LACS上に事前に講義資料を掲載するので、あらかじめ目を通して分からない点を確認しておく(2h) 復習: 講義資料により復習を行い、講義内容を理解しているか確認する(2h)		
キーワード/Keywords	法の支配、基本的人権、三権分立、罪刑法定主義、契約の自由		
教科書・教材・参考書/Materials	参考書: 「法学入門(第6版補訂版)」末川 博偏(2014年)		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考/Remarks	対面	
学生へのメッセージ/Message for students	法律というとなんだか難しそうですが、私たちが生まれた時から身近にあるものであり、トラブルに巻き込まれたときはもちろん、そうでなくても日常生活の中に常について回るものですので、この授業で法学の基礎について学んでいただければと考えています。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	イントロダクション：西久保、菊池	A
第2回	家族と法(参考書第10講)：西久保	A
第3回	契約の自由(参考書第11講)：西久保	A
第4回	財産(参考書第12講)：西久保	A
第5回	損害賠償(参考書第13講)：西久保	A
第6回	労働者の権利(参考書第14講)：西久保	A
第7回	近代国家と憲法、権力分立(参考書第6講、第7講)：菊池	A
第8回	基本的人権(参考書第8講)：菊池	A
第9回	基本的人権(参考書第8講)：菊池	A
第10回	犯罪と処罰(参考書第9講)：菊池	A
第11回	法学を学ぶにあたって、法とは何か(参考書序講及び第1講)：本庄	A
第12回	法の発展(参考書第2講)：本庄	A
第13回	法と裁判、裁判の基準(参考書第3講及び第4講)：本庄	A
第14回	法の解釈(参考書第5講)：本庄	A
第15回	まとめ：西久保、菊池	A
第16回	筆記試験	A

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 4クォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2024/11/28 ~ 2025/02/07		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240594007301	科目番号 / Course code	05940073
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	● 倫理学入門(人文・社会科学科目) / Introduction to Ethics		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	田村 康貴		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	田村 康貴		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	田村 康貴		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	1, 2, 3, 4		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kktamura1212▲nagasaki-u.ac.jp (▲を@に変更してください)		
担当教員研究室/Office	総合教育研究棟12F		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時(事前にメールで連絡すること)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	「善悪」や「正邪」のような、人間の生にまつわる価値の問題にできるだけ明確に答えようとするのが倫理学です。この授業では、映画等の資料を用いながら、倫理学の代表的なトピックについて学んでいきます。		
授業到達目標/Course goals	・複数の倫理思想を学び、それぞれの特徴を理解する(分野・領域を超えて汎用可能な技能) ・他者の考えの検討を通し、自分の考えを批判的に考察できるようになる(社会の多様性を理解)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■ 汎用的能力 / Generic Competence ■ 倫理観 / Ethics ■ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への貢献(50%)、期末レポート(50%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	【予習】参考文献を読むなどして、次回のテーマについて事前にある程度の予備知識を得ておく(2h) 【復習】参考文献を読むなどして、各回のテーマの理解を深める(2h)		
キーワード/Keywords	倫理、道徳、映画		
教科書・教材・参考書/Materials	授業中に適宜指示・紹介します。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	特になし		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考/Remarks	授業は対面形式で実施する予定です。		

学生へのメッセージ/Message for students	高校の公民科目としての「倫理」とは異なり、「倫理学入門」では毎回ひとつのトピックをのんびりじっくり考えていきます。「正義」や「愛」など、扱うトピックは抽象的なものが多いですが、実際の授業ではなるべく具体的な話をするつもりです（そのための映画）。「ああ、アレのことね！」という感じの理解に至るまで、いくらでも質問してください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1週	初回ガイダンス / 嘘について
第2週	自分らしさについて
第3週	正義について
第4週	動物について
第5週	スポーツについて
第6週	愛について
第7週	幸福について
第8週	全体のまとめ / 期末レポート課題提示

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2024/11/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240594007501	科目番号 / Course code	05940075
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	●経済から見る世界と日本(人文・社会科学科目) / The World and Japan in Economic Perspective		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	鈴木 崇文 / SUZUKI Takafumi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	鈴木 崇文 / SUZUKI Takafumi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	鈴木 崇文 / SUZUKI Takafumi		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	経済学部以外		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	takafumi.suzuki ▲nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部本館6階624研究室		
担当教員TEL/Tel	連絡はEメールをお願いします。		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後に遠慮なく質問して頂いて大丈夫です。また、Eメールでの問合せは随時受け付けますし、Eメールで事前に日程調整をして頂ければ別途対面やZoomでの対応も致します。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	モノ・サービス、お金、人、情報が、頻繁にかつ大量に国境を越えて移動する時代となり、日本と諸外国との関係が多分野において深まっています。本講義では、こうしたグローバル化社会における日本と世界との関係について、主に経済の観点からの課題や日本との関係が深い諸外国の状況について考察していきます。		
授業到達目標/Course goals	・諸外国で何が起きているかを自ら調べることができるようになる。 ・諸外国での出来事が日本にどのような影響を及ぼし得るかを考え、説明することができるようになる。 ・地域社会および将来世代に貢献するグローバルな視点を身につけることができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy □協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over □B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives □C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills □D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	各日の講義終了後の小テスト：小計60点 課題等：小計40点 合計100点のうち、60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習：LACSに掲載された講義資料を読み、不明な用語等があれば調べて確認する。(2h) 復習：講義資料の再読及び小テストの実施により、理解を確実なものにする。(2h)		
キーワード/Keywords	世界貿易機関(WTO)、経済連携協定(EPA)、貿易統計、国際収支統計		
教科書・教材・参考書/Materials	講義資料はLACSに掲載します。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	なし		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2999 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面形式で行います。
学生へのメッセージ/Message for students	国際関係に関心のある学生だけでなく、外国のことなど自分や日本には関係ないと思っている学生の受講も歓迎します。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	鈴木 宗文/財務省において国際経済に係る諸機関（WTO、WCO、OECD(DAC)等）及び諸問題（関税及び非関税障壁、貿易救済措置、通関システム、関税技術協力等）を担当、ベルギー（WCO）及び在スイス日本大使館での在外勤務経験あり。/前記の実務経験を踏まえた講義を行います。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	序論（イントロダクション）
第2回	世界と日本の経済関係
第3回	世界と日本の経済関係
第4回	世界と日本の経済関係
第5回	世界と日本の経済関係
第6回	世界と日本の経済関係
第7回	アジアと日本の経済関係
第8回	アジアと日本の経済関係
第9回	欧州と日本の経済関係
第10回	北米と日本の経済関係
第11回	中南米と日本の経済関係
第12回	アフリカと日本の経済関係
第13回	食料安全保障
第14回	エネルギー安全保障
第15回	総括

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 4クォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2024/11/28 ~ 2025/02/07		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240594007701	科目番号 / Course code	05940077
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	● 不登校と多様な学びを考える(人文・社会科学科目) / School Nonattendance and Alternative Education		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	岡田 佳子 / Okada Yoshiko		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	岡田 佳子 / Okada Yoshiko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	岡田 佳子 / Okada Yoshiko		
科目分類 / Course Category	社会連携・キャリア教育関連科目, 自由選択科目, 人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	okadayo▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部512		
担当教員TEL/Tel	095-819-2091		
担当教員オフィスアワー/Office hours	何か質問や相談したいことがあったら遠慮なく来てください。 特に予定がない日時ならいつでも対応します。 但し、LACSでのメッセージ経由ではなく、必ずメールにて面談の予約をしてください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本科目は、日本における不登校現象と、不登校の児童生徒が学校外で学ぶ場所としての「多様な学びの場」についての理解を深めることを目指します。 日本では「不登校」という社会現象があります。文部科学省は「病気を除いた心理的・情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により年間30日以上学校を欠席すること」を「不登校」として定義しています。不登校の児童生徒には、学校教育法第一条に定められた学校(一条校)に行くこと以外の選択肢が基本的には認められていません。このため、日本では「不登校」は社会問題とみなされる風潮があります。しかし、これは日本特有の現象です。 諸外国では時代と共に学校外での「多様な学びの場」(Alternative Education)の存在が法律等で認可され、公的に認められてきたため、不登校という社会現象そのものが消失していきました。普通の学校に行くことを望まない子どもは「多様な学びの場」を活用して教育・学習を進めた後に大学等へ進学、もしくは就職をしています。 一方日本では、学校外での学びは未だ公的にも法的にも認められていません。そのため、不登校の児童生徒は、学校に行けない/行かないままになるか、あるいは私費で学校とは異なる学習方法を用いる学びの場を選んで利用しています。これが「多様な学びの場」(オルタナティブ教育)と呼ばれる組織・団体等です。 この科目では、日本における不登校現象の背景や現状および多様な学びの場について解説を行い、日本における不登校現象をいかに解消していけばよいか、その方策を一緒に考えていきます。		
授業到達目標/Course goals	・日本における不登校現象について理解することができる。 ・不登校と多様な学びに関する諸問題について自分の考えを述べることができる ・自分と異なる意見を持つ他者と話し合いながら問題解決に取り組むことができる ・他者の多様な価値観について受容的に関わることができる		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☒ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		

学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
/ Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動
/ Activities involving others to think from various perspectives □C.技能修得のために実践する活動
/ Activities to practice for acquiring skills □D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動
/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される
/ It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	ワーク・課題の得点総計を100点満点に換算し、60点以上を合格とします。 但し、(1)全体の2/3以上の出席及び(2)ワークと課題を全体の2/3以上提出していることを「成績評価の最低条件」とします。(この条件を満たしていない学生は自動的に単位が取得できないことになります。また、これらは合格の最低条件ではありません。採点結果によっては不合格になる可能性も十分にありますのでくれぐれも注意してください)
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	本科目では、授業中及び授業後にLACSを通じてワーク(課題)を提出してもらいます。そのため、必ずPCを持参すること。
キーワード/Keywords	多様な学び、子どもの権利条約、教育機会確保法、フリースクール、ホームスクーリング、デモクラティックスクール
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は指定しません。参考資料等は授業の中で随時配付します。
受講要件(履修条件)/Prerequisites	・授業内外の課題やグループワークに積極的に取り組むこと。 ・授業進行やグループワークの妨げとなるので特段の理由がない限りは遅刻及び欠席厳禁です。遅刻した際、グループワークの妨げになる時点での入室を断る場合があります。(その時間の出席は認めません)授業開始時間には必ず着席しておくよう、くれぐれも注意してください。 ・授業中の私語および携帯電話の使用は禁止します。使用を発見した段階で退室してもらう場合があります。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考/Remarks	・この授業では座席指定を行います。座席の指示は授業開始時に行うため、遅刻・欠席をしないこと。 ・授業内でグループワークを頻繁に行うため、特別の理由がない限りは遅刻・欠席厳禁とします。それに留意したうえで受講すること。
学生へのメッセージ/Message for students	この科目では不登校現象について客観的に捉え直す視点を培い、代替策としての「多様な学びの場」について理解する力を身につけていくことをねらいとしています。不登校や多様な学びの場について一緒にじっくり考えていきましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション&不登校のイメージを探索する
第2回	日本における不登校現象の特異性とその背景
第3回	学校に行けないのはなぜか?(1)
第4回	学校に行けないのはなぜか?(2)
第5回	なぜ多様な学びが必要か～非認知能力の観点から～(1)
第6回	なぜ多様な学びが必要か～非認知能力の観点から～(2)
第7回	子どもの権利条約
第8回	教育機会確保法
第9回	ホームスクーリング(1)
第10回	ホームスクーリング(2)
第11回	フリースクール

第12回	不登校特例校
第13回	イエナプラン
第14回	シュタイナー教育
第15回	日本の教育政策の最新動向
第16回	まとめ

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/06/10		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240594008901	科目番号 / Course code	05940089
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	【Online】●歴史学(人文・社会科学科目) / History		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	姉川 雄大, 重松 尚 / Shigematsu Hisashi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	姉川 雄大		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	姉川 雄大, 重松 尚 / Shigematsu Hisashi		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	anegawa nagasaki-u.ac.jp (メールを送る際には 印を@におきかえてください)		
担当教員研究室/Office	総合研究棟12階		
担当教員TEL/Tel	内) 2928		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールでアポイントをとってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	前近代から近現代に至る経済成長により、どのような問題が解決されたのか、どのような問題が未だ解決されないまま残っているのか、さらには、どのような問題が新たに生み出されたのか、といった観点から、人類の歴史を考察する。		
授業到達目標/Course goals	授業で取り扱う歴史上の諸問題について説明できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☒ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☒ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	オンライン提出のコメントシート(50%)、レポート(50%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：授業内で指示された参考文献を用いて予習を行う。(2h) 事後学習：授業ノートおよび事後学習用資料を用いて復習を行い、コメントシートを提出する(提出は2回ごと)。(2h)		
キーワード/Keywords	資本主義、帝国主義、植民地主義、レイシズム、ナショナリズム		
教科書・教材・参考書/Materials	授業内およびLACSで紹介する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先		
備考/Remarks			
学生へのメッセージ/Message for students			
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N) / Instructor(s) with practical experience	N		

実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用） / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1, 2回（4月17日）	イントロダクション（対面、担当：姉川）開講日に注意してください。
第3, 4回（オンデマンド）	経済成長——前近代と近現代（オンデマンド方式、担当：重松）
第5, 6回（オンデマンド）	資本主義と帝国主義（オンデマンド方式、担当：重松）
第7, 8回（オンデマンド）	レイシズム——アメリカ合衆国の人種問題（オンデマンド方式、担当：重松）
第9, 10回（オンデマンド）	ナショナリズム——ヨーロッパの民族問題（オンデマンド方式、担当：重松）
第11, 12回（オンデマンド）	現在と未来の経済（オンデマンド方式、担当：重松）
第13, 14回（6月5日）	ナショナリズム、人種主義、資本主義をどう考えるか（対面、担当：姉川） 開講日に注意
第15回（オンデマンド）	まとめと試験（オンデマンド方式、担当：姉川）

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 2クォーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2024/06/11 ~ 2024/08/07		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240594009101	科目番号 / Course code	05940091
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	●音楽理論(人文・社会科学科目) / Music Theory		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	三上 次郎 / Mikami Jirou		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	三上 次郎 / Mikami Jirou		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	三上 次郎 / Mikami Jirou		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	mikami@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	音楽棟3階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2344		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日 3限		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	音楽理論の内、楽典の領域を主に学習する。		
授業到達目標/Course goals	音符の構造、楽譜の構造、調性、和音について正しく理解できるようにする。(各コース・専攻に特徴的な専門的知識・技能を身につけている。)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☒ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B.多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☒ C.技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F.教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	各セクションごとの問題の解答を評価する。予備テストの合計点を基礎点とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前の予習(2H)、LACSの課題を通した学習(2H)		
キーワード/Keywords	楽典、音楽理論、和音、コードネーム		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は特に指定しない。参考書「楽典」理論と実習 石桁真礼生 他著		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	楽典レベルの音楽理論が理解できていることを前提に授業を始めるので、その領域の不完全な学習しかしていない学生は、あらかじめ準備をしておくこと。例年このシラバスの記載を読んでおらず、授業についてこれない学生がいるので特に注意すること。また、この件に関しては特にケアをしないので、了承の上履修すること。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考/Remarks			
学生へのメッセージ/Message for students	Lacsを使い学習をする。予備テストは講義終了までの間に必ず全部行うこと。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	n
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーションと音名 ドイツ語と日本語による音名を学習する。
第2回	音名と音符について ドイツ語と日本語による音名と音符の符割などを学習する。 リズムの基本構造を理解する。
第3回	音符と楽譜の読み方 変化記号の読み方の基本を中心に音名を抱き合わせで学習する。
第4回	音程について (1) 音程の初歩について学習する。 数字音程のみならず、長・短などの音程幅について学習する。
第5回	音程について (2) 少し幅の広い音程を学習する。
第6回	音程について (3) 減、増を含む複雑な音程を学習する。
第7回	長音階と調について 長音階の構造と長調について学習する。
第8回	音階音の名称と音階固有音について 音階固有音は環境音であることを理解し、音階音の名称 (主音・属音など) を学習する。
第9回	短音階と短調 3つの短音階の種類を学習し、短調について学習する。
第10回	調関係と調の判定 関係調について学習し、調号を使わない簡単な音列の調性を判定する方法を学習する。
第11回	三和音について 4種類の三和音の構造を学習する。
第12回	各調とその上に構成される三和音について Iから のローマ数字について学習する。
第13回	七の和音 七の和音についてその構造を学習する。 転回形を学習する。
第14回	コードネームについて 主にジャズやポピュラー音楽において使用されるコードネームの基本原理を学習する。
第15回	まとめ

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 4ク ォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2024/11/28 ~ 2025/02/07		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240594009301	科目番号 / Course code	05940093
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	● 今と未来の図書館に遊ぶ(人文・社会科学科目) / Enjoy Thinking about Modern and Future Library		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	辻 高明		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	辻 高明		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	辻 高明		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tatsuji▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	文教キャンパスA&TLab爽創館202		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールで予約して下さい		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	図書館(大学図書館, 公立図書館)は近年, 学術情報基盤が整備され, また, ラーニングコモンズなどのアクティブラーニング環境や人々の交流拠点としても充実してきている。それに伴い, 図書館は従来の知の倉庫から, 知の交流, 知の創造の場へと変革を遂げている。すなわち, 図書や資料を収集・閲覧するだけでなく, 他者と知的な交流をしたり, さまざまな環境やリソースを活用して新たな知識を創り出す場へと変化している。本授業では, 現代の図書館(大学図書館, 公立図書館)の役割や機能について知るとともに, 図書館に関する現代的な重要テーマを用いた読む・書く, そして, 話し合う・発表するといった問題発見・解決学習を通して, 未来の図書館の姿を共創する。		
授業到達目標/Course goals	1. 図書館の役割や機能について理解する。 2. 現在の図書館の問題点を主体的に発見し、解決策を提案することができるようになる。 3. 未来の図書館の役割や機能について構想し, それを他者に的確に伝え, また他者との協働により考えを深めることができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・毎回の課題(40%) ・授業への取り組み状況(40%) ・最終課題(20%) を点数換算する。60点以上で合格。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習: 予め提示する資料に基づき、ワークを行う(2h)。 事後学習: 授業での学びをもとに課題やレポートに取り組む(2h)。		
キーワード/Keywords	大学図書館 公立図書館 知の創造 知の交流 学習支援 学術情報基盤		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は使用せず、資料を配付します。		

受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	本授業は対面で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	図書館は、大学の教育研究において大きな役割を果たしています。そして、皆さんの大学での学びにおいても重要な施設です。また、大学の図書館だけでなく、公立の図書館も地域社会において不可欠な拠点となっています。普段図書館を利用したことのない人も、本授業を通して図書館について考え、未来の図書館の姿を共に創りましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション
第2回	資料収集と学術情報基盤
第3回	大学図書館をテーマとした問題発見・解決学習（basic）
第4回	大学図書館をテーマとした問題発見・解決学習（basic）
第5回	アクティブラーニング拠点としての大学図書館
第6回	地域の交流の場としての公立図書館
第7回	公立図書館をテーマとした問題発見・解決学習（basic）
第8回	公立図書館をテーマとした問題発見・解決学習（basic）
第9回	大学図書館の役割と機能
第10回	公立図書館の役割と機能
第11回	大学図書館をテーマとした問題発見・解決学習（advanced）
第12回	大学図書館をテーマとした問題発見・解決学習（advanced）
第13回	公立図書館をテーマとした問題発見・解決学習（advanced）
第14回	公立図書館をテーマとした問題発見・解決学習（advanced）
第15回	未来の図書館についての共創
第16回	本授業のまとめと振り返り

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240594009501	科目番号 / Course code	05940095
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	● インド入門(人文・社会科学科目) / Introductory course for India studies		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	清田 智子 / KIYOTA Tomoko		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	清田 智子 / KIYOTA Tomoko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	清田 智子 / KIYOTA Tomoko		
科目分類 / Course Category	言語・異文化理解科目, 人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生向け教養選択科目		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tomokokiyota▲nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	文教キャンパス教養教育B棟2階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2454		
担当教員オフィスアワー/Office hours	質問や相談はいつでも歓迎です。事前にメールでアポを取ってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本講義では、世界的な大国の仲間入りを果たしたインドを取り上げ、国力(パワー)の源泉は何か考察する。そして、今後インドは国際社会でどのように振舞うのか、それは日本や東アジアにどのような影響を及ぼすのか議論する。		
授業到達目標/Course goals	- 国際政治学における国家の国力の考え方を理解できるようになる。() - インドの大国化が国際政治や日本の外交・安全保障に与える影響を考察できるようになる。() - 本講義を通じて、インドのみならず他国や他地域を理解するための様々な論点を学び、批判的に検討できるようになる。()		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■ 汎用的能力 / Generic Competence □ 倫理観 / Ethics ■ 多様性の理解 / Understanding Diversity □ 主体性 / Autonomy □ 協働性 / Cooperativeness □ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	□A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over □B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ■F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	出席(50%)、最終試験(50%)で、60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	【予習】講義時に説明する次回のテーマについて事前に予習しておくこと(2h) 【復習】講義内容を基にそのテーマについてもう少し自分で掘り下げてみる(2h)		
キーワード/Keywords	インド、国際政治、外交、安全保障、地域研究、民主主義、移民、日印関係、経済、貧困		
教科書・教材・参考書/Materials	特に決まった教科書は使いません。参考書については講義で提示します。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	インドに少しでも関心があれば大歓迎。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	本講義は全て対面で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	インドには5年住みました。とても面白い国なので面白可笑しく紹介したいと思います。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	本講義を担当する清田は、2017年から2年間、外務省アジア大洋州局地域政策参事官室で外務事務官としてASEANを担当し、2019年から2年間、在タイ日本国大使館で書記官として日タイ関係や日ASEAN関係の促進に関与した。また、在インド日本国大使館では2年間、専門調査員としてインド内政を担当した。インドでは、他にもシンクタンクや私立大学での勤務経験を有する。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回（4/17）	イントロダクション： 世界が注目するインドのパワー 対面 （注：4/10は講師の都合で休講です。）
第2回（4/24）	独立後インドが抱えてきたハンディキャップ （植民地下での搾取、印パ分離独立、計画経済等） 対面
第3回（5/8）	人口の多さや多様性は国力の源泉か、それとも重荷か （世界最大の国勢調査、宗教・カースト分布、言語） 対面
第4回（5/15）	貧困からの脱却と経済大国への歩み （計画経済、経済破綻、経済改革、しかしまだ残る貧困層） 対面
第5回（5/22）	連邦政府と州政府の攻防 （大統領と首相の役割、議会での議論、連邦政府と州政府の役割分担） 対面
第6回（5/29）	世界最大の民主主義国の強みと弱み （連邦総選挙、州議会選挙、選挙の仕組みや主要政党の紹介） 対面
第7回（6/5）	軍事大国化するインド （軍事力とは何か、政軍関係、中パとの国境紛争、兵器調達の問題点） 対面
第8回（6/12）	インド外交における戦略的自立 （非同盟政策、印ソ（半）同盟、印米関係、アマノジャク外交） 対面
第9回（6/19）	インドのエリート達：日本以上の競争・縁故社会 （官僚の能力や権限、流出する頭脳） 対面
第10回（6/26）	世界に分布するインド移民のパワー 対面
第11回（7/3）	インドのソフトパワー：ヨガやボリウッドは国力となりえるか？ 対面
第12回（7/10）	インド映画の視聴（未定） 対面
第13回（7/17）	世界と南アジアにおけるインドと中国の競合 対面
第14回（7/24）	日印関係の行く末：日本人はインドを理解できるか？ 対面
第15回（7/31）	まとめ：インドのパワーは本物か？ 対面
第16回（8/7）	試験 対面

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2025/03/31		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240594009502	科目番号 / Course code	05940095
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	●インド入門(人文・社会科学科目) / Introductory course for India studies		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	清田 智子 / KIYOTA Tomoko		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	清田 智子 / KIYOTA Tomoko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	清田 智子 / KIYOTA Tomoko		
科目分類 / Course Category	言語・異文化理解科目, 人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟44 / RoomB-44		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生向け教養選択科目		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tomokokiyoata▲nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	文教キャンパス教養教育B棟2階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2454		
担当教員オフィスアワー/Office hours	質問や相談はいつでも歓迎です。事前にメールでアポを取ってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本講義では、世界的な大国の仲間入りを果たしたインドを取り上げ、国力(パワー)の源泉は何か考察する。そして、今後インドは国際社会でどのように振舞うのか、それは日本や東アジアにどのような影響を及ぼすのか議論する。		
授業到達目標/Course goals	- 国際政治学における国家の国力の考え方を理解できるようになる。() - インドの大国化が国際政治や日本の外交・安全保障に与える影響を考察できるようになる。() - 本講義を通じて、インドのみならず他国や他地域を理解するための様々な論点を学び、批判的に検討できるようになる。()		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity □主体性 / Autonomy □協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	□A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over □B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ■F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	出席(50%)、最終試験(50%)で、60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	【予習】講義時に説明する次のテーマについて事前に予習しておくこと(2h) 【復習】講義内容を基にそのテーマについてもう少し自分で掘り下げてみる(2h)		
キーワード/Keywords	インド、国際政治、外交、安全保障、地域研究、民主主義、移民、日印関係、経済、貧困		
教科書・教材・参考書/Materials	特に決まった教科書は使いません。参考書については講義で提示します。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	インドに少しでも関心があれば大歓迎。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	本講義は全て対面で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	インドには5年住みました。とても面白い国なので面白可笑しく紹介したいと思います。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	本講義を担当する清田は、2017年から2年間、外務省アジア大洋州局地域政策参事官室で外務事務官としてASEANを担当し、2019年から2年間、在タイ日本国大使館で書記官として日タイ関係や日ASEAN関係の促進に関与した。また、在インド日本国大使館では2年間、専門調査員としてインド内政を担当した。インドでは、他にもシンクタンクや私立大学での勤務経験を有する。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 (10/2)	イントロダクション： 世界が注目するインドのパワー 対面
第2回 (10/9)	独立後インドが抱えてきたハンディキャップ （植民地下での搾取、印パ分離独立、計画経済等） 対面
第3回 (10/16)	人口の多さや多様性は国力の源泉か、それとも重荷か （世界最大の国勢調査、宗教・カースト分布、言語） 対面
第4回 (10/23)	貧困からの脱却と経済大国への歩み （計画経済、経済破綻、経済改革、しかしまだ残る貧困層） 対面
第5回 (10/30)	連邦政府と州政府の攻防 （大統領と首相の役割、議会での議論、連邦政府と州政府の役割分担） 対面
第6回 (11/6)	世界最大の民主主義国の強みと弱み （連邦総選挙、州議会選挙、選挙の仕組みや主要政党の紹介） 対面
第7回 (11/13)	軍事大国化するインド （軍勢力とは何か、政軍関係、中パとの国境紛争、兵器調達の問題点） 対面
第8回 (11/27)	インド外交における戦略的自立 （非同盟政策、印ソ（半）同盟、印米関係、アマンジャク外交） 対面
第9回 (12/4)	インドのエリート達：日本以上の競争・縁故社会 （官僚の能力や権限、流出する頭脳） 対面
第10回 (12/11)	世界に分布するインド移民のパワー 対面
第11回 (12/18)	インドのソフトパワー：ヨガやボリウッドは国力となりえるか？ 対面
第12回 (1/8)	インド映画の視聴（未定） 対面
第13回 (1/15)	世界と南アジアにおけるインドと中国の競合 対面
第14回 (1/22)	日印関係の行く末：日本人はインドを理解できるか？ 対面
第15回 (1/29)	まとめ：インドのパワーは本物か？ 対面
第16回 (2/5)	試験 対面

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 4クォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2024/11/28 ~ 2025/02/07		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240594009701	科目番号 / Course code	05940097
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	● グローバル化時代への備え(人文・社会科学科目) / Preparing for the Era of Globalization		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	清田 智子 / KIYOTA Tomoko, 郷司 寿朗 / Goji Toshiro		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	清田 智子 / KIYOTA Tomoko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	清田 智子 / KIYOTA Tomoko, 郷司 寿朗 / Goji Toshiro		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学部学生向け教養選択科目		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tomokokiyoata▲nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	文教キャンパス教養教育B棟2階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2454		
担当教員オフィスアワー/Office hours	質問、相談はいつでも歓迎します。事前にメールでアポを取ってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本講義では、グローバル化した社会を生き抜く上で必要な知識や情報収集の方法を学ぶ。外国人と一緒に働く際に知っておいた方が良いマナー、海外で働く際の注意事項、国際的に働く際のCV(職務経歴書)の書き方や仕事への応募の方法やビザの問題等、様々な視点から実践的にグローバル化社会に備える。		
授業到達目標/Course goals	- この世界がどれくらいグローバル化されているのか知る。() - グローバル化社会で生き抜く上で必要な知識を得ることができ、自分でも情報収集ができるようになる。() - グローバル化社会で自分がどのように生きていくか考えられるようになる。()		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ■ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	出席(50%)、課題(50%)で、60点以上を合格とする。 本講義では15年後になっていたい自分のCVを想像で作成してもらい、グループで面接を実施する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	講義で学んだことを基に、講義後に自分の将来を考えながら情報収集や課題作成を行うこと。(4h)		
キーワード/Keywords	グローバル化、国際化、国際情勢、英語、留学、国際キャリア、外国人		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は使用しない。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	上記授業内容はゲストスピーカーの予定などを踏まえ変更になる場合があります。
学生へのメッセージ/Message for students	私は中学生時代に洋画やMTVにはまり海外に関心を持つようになりました。それ以来海外で働きたい熱が続き、これまでに1か月以上住んだ国は加豪露米印泰の6カ国、全て合わせると8年近く海外で生活してきました。その中で私が経験したことや失敗したことなどを踏まえつつ、皆さんが海外に出る前に知っておいた方が良いことなどを紹介していきます。海外に少しでも関心がある方は大歓迎です。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	本講義を担当する清田は、2017年から2年間、外務省アジア大洋州局地域政策参事官室で外務事務官としてASEANを担当し、2019年から2年間、在タイ日本国大使館で書記官として日タイ関係や日ASEAN関係の促進に関与した。また、在インド日本国大使館では2年間、専門調査員としてインド内政を担当した。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	イントロダクション： グローバル化社会とは何か。世界はどの程度グローバル化しているのか。 対面
第2回	英語・第二外国語学習のすすめ：英語の資格はどれくらい役に立つのか、海外で働く際の語学力の目安、効果的な英語学習の方法等。 対面
第3回	海外旅行のすすめ：旅行計画の立て方、海外旅行保険の重要性、パスポート、ビザの取得方法等 対面
第4回	留学のすすめ：いつ留学するのが良いのか、留学方法、留学費用の目安や奨学金の探し方、ワーホリ制度の活用等 対面
第5回	国際キャリアのすすめ : 海外で働く方法、仕事の種類、国際キャリアのメリット・デメリット等 対面
第6回	国際キャリアのすすめ : 事例紹介 対面
第7回	国際キャリアのすすめ : 事例紹介 対面
第8回	国際キャリアのすすめ : 国際キャリア構築のノウハウ、CVの作成方法、国際機関の空席ポストの調べ方（実践編） 対面
第9回	日本で暮らす外国人の実情 対面
第10回	外国人と働く、暮らす際のマナー：宗教、食事、文化、差別、バイアス等 対面
第11回	海外でのトラブルへの備え：病気、事故、犯罪、麻薬、飲酒等 対面
第12回	大使館の役割 対面
第13回	最低限知っておくべき国際情勢 : 外務省海外安全HPを読み解く 対面
第14回	最低限知っておくべき国際情勢 : 情報収集の方法 対面
第15回	面接試験 対面
第16回	面接試験 対面

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 4クォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2024/11/28 ~ 2025/02/07		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240594010101	科目番号 / Course code	05940101
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	● 外交・安全保障入門(人文・社会科学科目) / Introduction to Foreign Affairs and Security		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	西田 充		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	西田 充		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	西田 充		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	michiru.nishida▲nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	総合研究棟2階(202)		
担当教員TEL/Tel	2924		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前のメール等で連絡してください。柔軟に対応します。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	数十年に一度の大きな変動の時代を迎えている今、外交・安全保障関係者に留まらず、文系・理系を問わず、理解しておく必要がある外交・安全保障の基本について、伝統的な課題から近年の新たな課題まで幅広く理解できるようになることが授業の主眼です。		
授業到達目標/Course goals	1. どの分野であろうと実社会に出て必要な外交・安全保障の基本的な問題を理解し、自ら考え、主張し、行動することができる。(DP-1, DP-2) 2. 外交・安全保障問題の基本的な理解をもとに、地域社会および将来世代に貢献するグローバルな視点を身につけることができる。(DP-6)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity □主体性 / Autonomy □協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への参加度合い(出席、発言、発表、レスポンスなど)(70%)、最終試験(30%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	(予習) 資料を事前に読んでおくこと(2時間) (復習) 講義内容及び講義資料を基に復習すること(2時間)		
キーワード/Keywords	外交、安全保障、軍事、同盟、核兵器、気候変動、新興技術、宇宙、サイバー、ディスインフォメーション、グローバルリスク、プラネタリーヘルス		
教科書・教材・参考書/Materials	随時指定する		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	どれでもいいので関心をもって新聞をよく読んでください		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	従来、平和や安全保障の分野はイデオロギー的な議論に終始し、「平和」「核廃絶」対「軍事」「安全保障」「核抑止」といった形で二項対立に陥ることが多かったのですが、このままでは真の平和を追求することは困難となります。本来は二項対立ではなく、両立できるものです。激動の世界情勢においては、不幸な二項対立を乗り越えて、現状を正確に理解したうえで、そのような状況の中にあっていかに平和や核廃絶を追求するのかを主権者である我々一人ひとりが考えることができる力をつける必要があります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	YES
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	外務省で25年間外交官としての経験
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	外交・安全保障の基本概念（伝統的な安全保障、新たな安全保障、外交の役割、平和とは何か）
2	3つの体系による国際秩序：パワー（勢力均衡）、利益（協調）、価値観（共同体）
3	国際法と国際機関による安全保障
4	核兵器の出現と制御の試み（抑止、軍備管理、軍縮、不拡散）
5	日本の安全保障・防衛政策（日本を取り巻く安全保障環境、日本の防衛政策）（ゲストスピーカー）
6	日本の安全保障戦略（安全保障関連3文書：国家安全保障戦略を中心に）
7	憲法と安全保障（集団安全保障、集団的自衛権）
8	日本の外交戦略（FOIP、「ルールに基づく国際秩序」、「法の支配」、「人間の尊厳」）
9	国によって異なる安全保障観（中国、北朝鮮、米国、韓国、ASEAN、欧州、ロシア）
10	ディスカッション（これまでのトピックについてグループ・ディスカッションと発表）
11	新たな安全保障課題：新興技術（AI、無人システム）、新たな領域（宇宙、サイバー）
12	新たな安全保障課題：認知戦、ディスインフォメーション
13	新たな安全保障課題：民主主義の危機と権威主義の勃興
14	新たな安全保障課題：経済安全保障
15	複合リスク：気候変動、パンデミック、核、難民（プラネタリーヘルス）
16	まとめのディスカッション 試験

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 2クォーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 4, 水 / Wed 5
開講期間 / Course duration	2024/06/11 ~ 2024/08/07		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240594010301	科目番号 / Course code	05940103
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	● 社会文化観光論入門(人文・社会科学科目) / The introduction to tourism studies of		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	王 維 / Wang Wei		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	王 維 / Wang Wei		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	王 維 / Wang Wei		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟34 / RoomB-34		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	王維 wangw@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	総合教育研究棟10階 王研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2913		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時。ただしメールでのアポイントメントが必要		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	現代社会では「観光と文化」の重要性がますます高まっており、観光と社会と文化の関係を同時に研究の射程に収める必要がある。本授業では、現代社会の観光状況を理解する上で学習が必要とされる社会学及び人類学などの理論を整理し、観光が社会、文化、人間と絡みあう現実の全体を見渡しなが、それに関する研究の展望や動向などを紹介する。		
授業到達目標/Course goals	1. 社会文化観光に関する基本的な考え方を知る。 2. 観光に関する諸文化に関する基本的な項目を理解し、説明できる。 3. 様々な観光形態に関する理解を深め、視野を広げると共に自らの進路選択への意識を高める。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy □協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over □B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	出席、シヨットレポート・期末レポート40%、成績60%で評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	(予習) 配布資料の該当範囲について事前に読み / 視聴し、分からないところは調べ、自分なりに理解し、質問をすること (2時間) (復習) 講義内容及び講義資料を基に復習すること (2時間)		
キーワード/Keywords	消費社会、観光、文化再構築、フィールドワーク、観光メディア、エスニック観光、地域、観光のまなざし、観光のまちづくり		
教科書・教材・参考書/Materials	『観光社会学—ツーリズム研究の冒険的試み』須藤廣他、明石書店、2005年 『観光と文化 - 旅の民族誌』(" Culture on Tour " Edward M. Bruner 2005) 安村克己他訳、2007年 『よくわかる観光コミュニケーション論』須藤廣他、2022年 『基本概念から学ぶ観光人類学』市野澤潤平、2022年 その他、随時に紹介する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	序説 社会、観光そして文化
第2回	社会文化観光の課題
第3回～第4回	観光理論：「擬似イベント」論、「真正性」論、「ホスト/ゲスト/ツーリスト
第5回～第6回	観光と文化をめぐる動態及び観光のフィールドワーク
第7回～第8回	観光が与える影響と民族誌：エスニック観光、メディア観光、現代の「巡礼」とテーマパーク観光
第9回～第10回	観光によって作り出された社会と文化：地域文化の再生と観光、観光開発と文化保存
第11回～第13回	健康と観光、歴史遺産とアート、食のツーリズム
第14回～第15回	新しい観光の諸相：持続可能性と観光 全体のまとめ

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2024/11/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240594010501	科目番号 / Course code	05940105
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	●「洗う」の科学(人文・社会科学科目) / The Science of "Cleaning"		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	駒津 順子 / Komatsu Junko		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	駒津 順子 / Komatsu Junko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	駒津 順子 / Komatsu Junko		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	主対象、1年~4年 全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	j.komatsu▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部4階408研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2268		
担当教員オフィスアワー/Office hours	昼休み(事前にメールにてアポイントを取る)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	洗浄に関する問題点を科学的な視点から捉え、自分なりの解決策を考えます。		
授業到達目標/Course goals	自ら生活に潜む問題点を発見し、それを解決するための考え方とスキルを身につける。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☒ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☒ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	講義時に提示課題の評価(60%) 期末試験(40%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習: 適宜、講義内で指示します。(2H) 復習: 適宜、講義内で指示します。(2H)		
キーワード/Keywords	洗浄、洗濯、界面活性剤、掃除		
教科書・教材・参考書/Materials	講義資料は適宜配布するか、LACS(授業資料)に掲載します。 参考資料 ・大矢勝, 地球にやさしい 石けん・洗剤ものしり事典 爽快! 快適! 科学する洗剤選びと洗い方, ソフトバンククリエイティブ, 2008 ・大矢勝, 図解入門よくわかる 最新洗浄・洗剤の基本と仕組み, 2011 ・一般社団法人日本家政学会編著, 衣服の百科事典, 丸善出版, 2015 ・大矢勝 他, 洗浄の事典, 朝倉書店, 2022 ・阿部絢子, きみもなれる! 家事の達人 せんたく, 少年写真新聞社, 2015 ・阿部絢子, きみもなれる! 家事の達人 そうじ, 少年写真新聞社, 2015		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	PCを持参してください。
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	高等学校教諭として学校現場で家庭科の授業を担当。学校現場における衣生活教育の教材化および実用化に関する具体的な研究を実践している。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーションと洗濯（界面活性剤）の歴史について
第2回	酸性・塩基性の化学、衣服の化学
第3回	石けん・洗剤が汚れを落とす仕組みについて（汚れ除去の3パターン）
第4回	石けん・洗剤が汚れを落とす仕組みについて
第5回	漂白と増白、衣類洗濯のコツと取り扱い絵表示
第6回	深さ30cm?! 靴下の洗い方の化学
第7回	柔軟仕上げ剤について
第8回	洗濯と洗濯機等に関する演習
第9回	石けん・洗剤の規制
第10回	取り扱い絵表示と洗濯習慣
第11回	各国の洗濯事情について
第12回	商業洗濯について
第13回	掃除の歴史について
第14回	クエン酸で水垢が落ちる仕組みと消費者情報の関連について
第15回	台所、トイレ、風呂場などの掃除について

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2024/11/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240594010701	科目番号 / Course code	05940107
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	●グローバルリスク社会を読み解くための人文社会科学概論(人文・社会科学科目) / " Global Risk Society " from the Perspective of Humanities and Social Sciences		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	COMPEL RADOMIR / COMPEL RADOMIR, 濱崎 宏則 / Hironori Hamasaki, GUELBEYAZ ABDURRAHMAN, 小松 悟 / Satoru Komatsu, 南 誠 / Minami Makoto, 藤田 泰昌 / Taisuke Fujita, 吉田 文彦 / Yoshida Fumihiko, 寺田 晋, 福田 紗耶香		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	COMPEL RADOMIR / COMPEL RADOMIR		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	COMPEL RADOMIR / COMPEL RADOMIR, 濱崎 宏則 / Hironori Hamasaki, GUELBEYAZ ABDURRAHMAN, 小松 悟 / Satoru Komatsu, 南 誠 / Minami Makoto, 藤田 泰昌 / Taisuke Fujita, 吉田 文彦 / Yoshida Fumihiko, 寺田 晋, 福田 紗耶香		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	cmplrad▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	総合教育研究棟		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時(要事前連絡)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	現代社会のリスクは、様々な要因が複雑に絡み合い、ますます不確実性、予見不可能性に満ちたものとなっている。社会学者のベックは、まさにそのような現代社会の様相を「リスク社会」という言葉で表現した。そこでは、モダニティの持続的な発展および産業社会の存続可能性自体が、その前提としてリスクを内包している。 様々なレベルにおける社会的カストロフィ(崩壊)を回避しつつ、人類が21世紀を生き残り、100年後も幸福に生きられるような社会を実現するために、人文社会科学はどのような貢献が可能であろうか。本授業では、人文社会科学諸分野の「グローバルリスク社会」に対する捉え方を俯瞰しながら、このような人類共通の問いについて考察する。		
授業到達目標/Course goals	(1) 人文社会科学諸分野で「グローバルリスク社会」がどのように捉えられ、現在どのような問題が提示されているかを理解する。(DP-2,4) (2) (1)の理解にもとづき、身近な社会的事象を「グローバルリスク社会」という枠組みを通して自分なりに解釈し、表現できるようになる。(DP-1,2,4)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy □協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over □B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	平常点: 授業への積極的参加(ディスカッションやグループワークへの参加、アンケートへの回答など) 50% 課題点: レポートなど 50%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	【事前学習】授業の内容に関連する社会事象について論文やニュースなどから情報を収集して授業に臨む。(2h) 【事前学習】授業の後には、授業内容に関連する書籍や論文を読み、授業についての理解を深める。(2h)		

キーワード/Keywords	リスク社会、不安、宗教、民族主義、排外主義、歴史認識、災害、移動、教育格差、経済格差、貧困、差別、虐待、移民、難民、テロリズム、紛争
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は使用しない。参考文献については授業中に適宜指示する。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	原則対面だが、一部はオンライン（リアルタイムやオンデマンド）で実施される可能性もある。各授業の前に担当教員からの連絡を確認してください。
学生へのメッセージ/Message for students	授業への出席だけでは平常点は付与されないのでご注意ください。 グループワークやディスカッションへの参加、アンケートへの回答などが要件となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	新聞記者・編集者実務（吉田文彦）：1980年に朝日新聞社に入社、ワシントン特派員、ブリュッセル支局長などを経て、2000年から論説委員、論説副主幹も務め、核問題を中心に社説などを執筆。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回（10/02）	はじめに ―「グローバルリスク社会」とは何か（コンベル担当）
第2回（10/09）	リスク社会における専門知と信頼（寺田担当）
第3回（10/09）	リスクと社会政策（寺田担当）
第4回（10/16）	リスク社会論における「不安」の再検討（南担当）
第5回（10/16）	リスク社会における「境界文化」研究の可能性（南担当）
第6回（10/23）	リスク社会と教育（1）（福田担当）
第7回（10/23）	リスク社会と教育（2）（福田担当）
第8回（10/30）	母子保健課題に関する貧困層の健康リスク（小松担当）
第9回（10/30）	貧困層が直面する多様なリスクの形（小松担当）
第10回（11/06）	クルド人問題 ― グローバルリスク社会を背景に ―（1）（ギョルベヤズ担当）
第11回（11/06）	クルド人問題 ― グローバルリスク社会を背景に ―（2）（ギョルベヤズ担当）
第12回（11/13）	核拡散というグローバルリスク（藤田担当）
第13回（11/13）	グローバルリスクと核兵器（吉田担当）
第14回（11/20）	グローバルな気候・水リスクとセキュリティ（濱崎担当）
第15回（11/20）	プラネタリーリスク社会と安全安心（コンベル担当）

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2024/11/28 ~ 2025/02/07		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240594010901	科目番号 / Course code	05940109
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	● 会話分析：日常生活におけるコミュニケーションの仕組み(人文・社会科学科目) / Conversation analysis: Mechanisms of daily communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	李 頌雅 / LEE SONG YA		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	李 頌雅 / LEE SONG YA		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	李 頌雅 / LEE SONG YA		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address			
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	By appointments (e-mail); Fridays 3rd and 4th periods		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	The purpose of this course is to introduce students to the fundamentals of conversation analysis and therefore get a better understanding of daily communication. By learning the ways of collecting and analyzing data, students will be able to analyze verbal and non-verbal behaviors in both casual talk and institutional talk.		
授業到達目標/Course goals	Students will be able to explain the basic concepts of conversation analysis. Students will be able to transcribe conversation data following the transcription conventions. Students will learn the method of analyzing conversation data by reading previous researches.		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■ 汎用的能力 / Generic Competence □ 倫理観 / Ethics □ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■ 主体性 / Autonomy □ 協働性 / Cooperativeness □ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	worksheets (30%) → Course goals and presentation(40%) → Course goals , and final report(30%) → Course goals and		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	1. 【Preview】Worksheets: Previewing the readings and fill in the worksheets (2h) 2. 【Review】Apply the knowledge learned from readings to data analysis and the preparation for the presentation (2h)		
キーワード/Keywords	Turn-taking, Sequence organization, Preference, Repair sequence, Membership categorization device, Assessments, Epistemics, Institutional talk		
教科書・教材・参考書/Materials	Please refer to the Japanese syllabus. Readings will be provided in class.		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	In order to ensure equal educational opportunities for all students, Nagasaki University strives to remove societal barriers that may interfere with academic activities, and to provide reasonable accommodations as necessary and appropriate. If you have any questions or concerns regarding reasonable accommodations or other support in this class, please feel free to talk to the instructor (contact information above), or contact the Student Accessibility Office. Student Accessibility Office contact information (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	Basically, classes will be held face-to-face. However, a blended model that combines both classroom activities and online learning might be adopted depending on the situation. In that case, the instructor will contact students by email, etc.
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	Guidance: What is conversation analysis?
2	Ways of collecting data and transcribing conversations
3	Turn-taking Choosing the next speaker
4	Turn-taking Overlaps in conversation
5	Sequence organization: Adjacency pairs and preference
6	Co-construction in conversation
7	Repair sequences: self-initiated repair
8	Repair sequences: other-initiated repair
9	Membership categorization devices
10	Assessments in conversation
11	Epistemics in conversation
12	Storytelling
13	Institutional talk: Focusing on classroom conversations
14	Multimodal conversation analysis: How to describe and analyze non-verbal behavior?
15	Presentation and group discussion
16	Presentation and group discussion

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 4クォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2024/11/28 ~ 2025/02/07		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240594010901	科目番号 / Course code	05940109
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	● 会話分析：日常生活におけるコミュニケーションの仕組み(人文・社会科学科目) / Conversation analysis: Mechanisms of daily communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	李 頌雅 / LEE SONG YA		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	李 頌雅 / LEE SONG YA		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	李 頌雅 / LEE SONG YA		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	sylee▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel	sylee▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金3-4限 (なるべく事前にメールでアポイントメントをとってください)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	この授業では、言語学や社会学で応用されている会話分析の研究方法を学ぶことで、日常生活のコミュニケーションの仕組みを理解する。会話データの収集から分析までの手法を習得し、カジュアル会話および制度的会話における言語・非言語行動を客観的に分析できるようになる。		
授業到達目標/Course goals	会話分析の基本的な概念を説明できる。 会話データの文字化の仕方に従ってトランスクリプトを作成できる。 論文の読解によって会話データの分析方法を身につける。 自ら収集した会話データを2つ以上の概念で分析できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■ 汎用的能力 / Generic Competence □ 倫理観 / Ethics □ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■ 主体性 / Autonomy □ 協働性 / Cooperativeness ■ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	ワークシート(30%) → 学習目標 、 に対応 発表 (40%) → 学習目標 、 、 に対応 期末レポート(30%) → 学習目標 、 に対応		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	【予習】配布文献を予習すること(2h) 【復習】授業の内容を復習した上で、ワークシートを記入して提出すること。さらに、データ分析、発表の準備と期末レポートの執筆に取り組むこと(2h)		
キーワード/Keywords	会話の順番交代システム、連鎖組織、優先組織、修復連鎖、成員カテゴリー化装置、評価、認識性、制度的会話		
教科書・教材・参考書/Materials	【参考書】適宜資料を配布します。 串田秀也・平本毅・林誠(2017)『会話分析入門』勁草書房 高木智世・細田由利・森田笑(2016)『会話分析の基礎』ひつじ書房 山崎敬一・浜日出夫・小宮友根・田中博子・川島理恵・池田佳子・山崎晶子・池谷のぞみ(2023)『エスノメソドロジー・会話分析ハンドブック』新曜社 好井裕明・山田富秋・西阪仰(1999)『会話分析への招待』世界思想社		

受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は原則的に対面形式で実施しますが、状況によってオンライン形式を併用する場合があります。その場合はメールなどで連絡します。
学生へのメッセージ/Message for students	日常生活の雑談など、様々なコミュニケーションがどのようになされているかについて考えたことはありませんか。実は、会話分析の研究者たちはそのような行動にとっても関心があります。一緒に学んで、私たちが日常生活でどのようなコミュニケーションをしているのかを理解しましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス：会話分析とは何か
第2回	データ収集と文字化の要領
第3回	順番交替システム 話者の選択
第4回	順番交替システム 発話の重なり（オーバーラップ）
第5回	隣接ペアと優先組織
第6回	会話における「共話」という現象
第7回	修復連鎖 自己開始
第8回	修復連鎖 他者開始
第9回	成員カテゴリー化装置
第10回	会話における評価表現
第11回	会話における認識性
第12回	物語
第13回	制度的場面の会話：教室会話を中心に
第14回	マルチモーダル会話分析の方法：非言語行動をどう記述・分析するか
第15回	学生によるプレゼンテーションとディスカッション
第16回	学生によるプレゼンテーションとディスカッション

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2024/11/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240596003501	科目番号 / Course code	05960035
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	●長崎歴史文化学(人文・社会科学科目 2021年度入学生は総合科学科目) / History and Culture of Nagasaki		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	深堀 昭三 / Fukahori Shozo		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	深堀 昭三 / Fukahori Shozo		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	深堀 昭三 / Fukahori Shozo		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 人文・社会科学科目, 総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	深堀昭三 < pekinfamily▲ngs2.cncm.ne.jp > (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	長崎史を通じて、長崎の視点から日本史、世界史も学びます。柱になるのはオランダ通詞の業績とキリスト教文化です。長崎と浦上の史跡探訪。ゲーム学習や簡単な聖歌歌唱、聖画模写、工作等が入ります。		
授業到達目標/Course goals	1. 長崎学を通史で学ぶことにより、長崎史の視点から中央史の歪みのある部分を指摘することができる。 2. 日本近代化の基礎を形作りながらも、世に忘れられたオランダ通詞の業績を、学び伝えることができる。 3. 浦上を中心にした本県の四百年にわたるキリスト教文化の変遷を、感動をもって実習することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy □協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	毎回の課題・感想提出、授業への取り組み・発表10点前後×6回=60点 長崎蘭学の回と最終レポートは15点 実習加算点10点 = 総計100点のうち60点以上を合格とする		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容 / Preparation & Review	予習: 配布テキストに目を通したうえで講義にのぞむこと。(4h) 復習: テキスト、Q&A集を再読し、理解を確実にするよう努めること。(4h)		
キーワード / Keywords	祭り 巫女 漢字 地名 オランダ通詞 隠れキリシタン 聖歌と聖画 浦上の工業		
教科書・教材・参考書 / Materials	初回到テキスト、フィールドワーク冊子配布。Q&A集は随時配布。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	日本語能力試験N2以上		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面形式で行います。コロナ等の状況に応じてオンデマンド教材をLACSで流すこともありますが、その場合は前時の授業やLACSで連絡します。2回予定しているフィールドワークの雨天順延についてもLACSで連絡します。
学生へのメッセージ/Message for students	神功皇后伝説や祭・アニメにみる巫女の姿、地名・人名から尋ねる荘園と武士の世界、近世を開いた長崎の町と長崎の人たちの業績、また長足の位置する浦上が世界的な殉教の地、工業の地であること、これらを文献や映像、実習、フィールドワークで学びます。なお、天候や感染症に合わせて単元を入れ替え、配点を加減することがあります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	深堀 昭三 / 長崎県公立学校での42年間の授業経験 / 奈良大学歴史文化財学科在学中 原口 茂樹 / 長崎県公立学校での41年間の授業経験 / 活水高等学校において10年間の長崎文化学
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	1. 祭の本質と長崎の祭 神功皇后伝説と神聖姫巫女 及び神子と市子 漢字と風土 特別講師：原口 茂樹
第2回	2. シミュレーションゲームで学ぶ荘園と武士の起こり 地名と氏名から探す我々のルーツとなる荘園
第3回	3. 長崎くんちの奉納踊りやパイレーツ映画にみる大航海時代と戦国の開港 イエズス会の布教とセナリヨ グレゴリオ聖歌と聖画 遣欧少年使節 特別講師：原口 茂樹
第4回	4. 映画「沈黙」にみる弾圧の時代 「ガリバー旅行記」にみるオランダの時代 隠れキリシタンの文化実習～天地始之事（朗読）、歌オラショ（歌唱）、御前様お洗濯（描画）、オマプリ作り（紙工作）
第5回	5. <長崎フィールドワーク>（雨天時単元入替） 大波止、出島、岬の教会、各通詞邸跡、自治都市長崎の城壁と堀、勝山代官屋敷・教会跡、会所跡 特別講師：原口 茂樹
第6回	6. 引き続き<長崎フィールドワーク> 歴文：立山奉行所、（諏訪神社、マグドナルド碑、堂門橋、桜馬場城、教会跡の春徳寺等）
第7回	7. 長崎FWの振り返り 日本近代化の基点・長崎蘭学 オランダ通詞・吉雄耕牛とオランダ座敷 同僚・本木良永の真摯な翻訳作業 江戸蘭学の育成と弟子・杉田玄白の裏切り 特別講師：原口 茂樹
第8回	8. 翻訳と造語の実際 二人の子弟、志筑忠雄、本木正栄、吉雄権之助らによる文法の解析とズーフハルマ辞書の完成、シーボルト事件による通詞団の壊滅 オランダ通詞と文法小テスト
第9回	9. <信仰の聖地・浦上フィールドワーク>（雨天時単元入替） サンタクララ教会跡、秘密教会跡、キリシタン墓地、ベアトス様殉教碑、山里小資料館、如己堂・帳方屋敷、浦上街道、ザベリオ堂跡、キリシタン資料館、浦上天主堂・鐘楼・資料館、庄屋屋敷跡 特別講師：原口 茂樹
第10回	10. 引き続き<浦上フィールドワーク> 医学部被爆遺構、高谷屋敷内稚桜神社・平ノ宿跡、歴史民俗資料館、天主堂遺壁、平和公園解散
第11回	11. 浦上FWの振り返り 近代分岐・明治の国作りゲーム 唐文化と唐通事 長大と東大、前史の比較 特別講師：原口 茂樹
第12回	12. ベリー艦隊は佐賀藩築造の長崎・四郎ヶ島台場に勝てたか 幕末金銀流失の真実
第13回	13. 大村藩の渡辺昇・鞍馬天狗と新選組、薩長同盟、浦上四番崩れの指揮 同期・長と専斎と衛生 二人の後輩・長岡半太郎による原子模型及び朝永振一郎、湯川秀樹、仁科博士らノーベル賞集団の育成 特別講師：原口 茂樹
第14回	14. 第二次大戦と浦上 近代科学とABC兵器 浦上洲村と戦艦 浦上家野村と魚雷
第15回	15. ミッションスクールと教養教育、ポップカルチャーの聖地長崎、Q&A解説、長崎学・浦上学レポート、中央への発信、CD製作の試み等
第16回	（予備回、自由実習の継続、質疑応答等）

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2024/11/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20240596004501	科目番号 / Course code	05960045
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	●大学での学びを共に創る(人文・社会科学科目 2021年度入学生は総合科学科目) / Co-creation of Learning at University		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	辻 高明		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	辻 高明		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	辻 高明		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目, 人文・社会科学科目, 総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tatsuji▲nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	文教キャンパスA&TLab爽創館202		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールで予約して下さい		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	大学生にとって、高校までの受動的で知識習得型の学びから、主体的で創造的な学びへと学習観を転換することは必要不可欠である。本授業では、近年の大学教育に関連する重要課題・テーマに関する講義と、それら大学教育のテーマを題材とした読む・書く、そして、話し合う・発表するといったアクティブラーニングの実践を通して、学生に、教育の受け手としての受動的な視点だけでなく、大学教育を対象化し、大学の教育や学びについて主体的・創造的に考える態度や技能の習得を図る。それにより、学生が受動的な学習者から、能動的学習者へと成長することを促す。 本授業では演習のテーマとして、大学入試改革、大学教育の質保証、大学での学習支援、大学教養教育のあり方、大学教員の職能開発、大学図書館の役割、地域創生と人材育成など、現代の大学教育における重要課題を用いる。		
授業到達目標/Course goals	1. 現在の大学教育の問題点を主体的に発見し、解決策を提案することができるようになる。 2. 他の受講生とのコミュニケーション活動を通じ、他者との協働による問題発見や解決に必要な態度や技能を身につける。 3. 大学での自身の学びを振り返りながら、今後の自分の大学での学びについて展望し、その実現のための課題と計画を立てることができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・毎回の課題(40%) ・授業への取り組み状況(40%) ・最終課題(20%) を点数換算する。60点以上で合格。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習: 予め提示する資料に基づき、ワークを行う(2h)。 事後学習: 授業での学びをもとに課題やレポートに取り組む(2h)。		
キーワード/Keywords	大学教育学 大学での学び 問題発見学習 問題解決学習 アクティブラーニング		

教科書・教材・参考書/Materials	教科書は使用せず、毎回資料を配付します。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	本授業は対面形式で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	本科目は、担当教員が、秋田大学の教養教育科目「大学の明日をみんなで創る」で4年間、京都大学の大学院科目「戦略的コミュニケーション 세미나」で8年間、提供してきた内容や方法に創意工夫を施して開講しています。秋田大学での担当科目は毎年度、「学生からの評価が高い授業」に認定されてきました。長崎大学でも、特に、これから、本学で主体的に学んでいこうとする学生、アクティブラーニングに関心のある学生、大学教育を対象とした学問に興味のある学生の積極的な受講を期待します。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション
第2回	大学教育に関する講義（大学教員とFD）
第3回	演習：大学教育のテーマを用いた問題発見・解決学習
第4回	演習：大学教育のテーマを用いた問題発見・解決学習
第5回	演習：大学教育のテーマを用いた問題発見・解決学習
第6回	演習：大学教育のテーマを用いた問題発見・解決学習
第7回	大学教育に関する講義（大学評価と教育の質保証）
第8回	大学教育に関する講義（大学教育における調査）
第9回	演習：大学教育のテーマを用いた問題発見・解決学習
第10回	演習：大学教育のテーマを用いた問題発見・解決学習
第11回	大学教育に関する講義（大学における学習支援）
第12回	学生コースバトル
第13回	演習：大学教育のテーマを用いた問題発見・解決学習
第14回	演習：大学教育のテーマを用いた問題発見・解決学習
第15回	大学での教育・学習に関するプレゼンテーション
第16回	本授業のまとめと振り返り